会長のページ　外国人患者 …… 河野　雅行　3
日州医談　女性医師が働き続けるための環境を考える
（医療現場の男女共同参画を目指して）…… 上山　貴子　4
随　　筆　待つということ …… 谷口　二郎　6
砂でつくる夢と感動2023 …… 石橋　俊秀　8
エコー・リレー（579） …… 髙橋　恒太，坂田　勝美　11
メディアの目　唇を奪われた夏 …… 加藤　　学　12
国公立病院だより　国立病院機構宮崎病院 …… 宮尾　雄治　18
宮崎大学医学部だより　感覚運動医学講座－眼科学分野－ …… 日髙　貴子　20
専門分科医会だより（放射線科医会） …… 杜若　陽祐　21
旅行記　81歳四苦八苦の四国遍路　その４ …… 高崎　眞弓　22
診療メモ　医療機関における性的少数者への対応について …… 中野　佳代　66
身近なお困りごと相談室 …… 高山　　桂　68
宮大医学部学生のページ　宮崎大学学園祭第19回清花祭 …… 川畑　隆士　70

あなたできますか？（令和４年度医師国家試験問題より） …… 10
宮崎県感染症発生動向 …… 14
各郡市医師会だより …… 16
第67回九州ブロック学校保健･学校医大会並びに令和５年度九州学校検診協議会（年次大会）… 24
令和５年度九州学校検診協議会役員会 …… 26
令和５年度九州各県医師会学校保健担当理事者会（日本医師会学校保健担当理事との懇談会）… 27
令和５年度九州医師会連合会学校医会評議員会 …… 31
各種委員会（医療保険委員会） …… 32
日医インターネットニュースから …… 34
医師協同組合だより …… 36
医師国保組合だより …… 38
会員の異動・変更報告 …… 40
理 事 会 日 誌 …… 42
県 医 の 動 き …… 46
ドクターバンク情報 …… 47
行　事　予　定 …… 53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 …… 55
ベストセラー …… 69
あ　と　が　き …… 78

お知らせ　カット・イラストの募集 …… 9
「新春随想」原稿募集 …… 13
医師年金ご加入のおすすめ …… 33
令和５年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い …… 45
日州医事へのご意見・ご感想 …… 51
医療勤務環境改善支援センター …… 65
医療事故調査制度相談窓口 …… 69
郡市医師会への送付文書 …… 72
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！ …… 76
日州医事原稿募集のお知らせ …… 77

医師の心得

1．私たちは，皆さまの
　健康状態をよくお聞きします。

2．私たちは，皆さまに
　最善の医療を提供できるよう心がけます。

3．私たちは，皆さまに
　医療内容をよく説明し，一緒に医療を行います。

4．私たちは，皆さまの
　「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。

5．私たちは，皆さまの
　健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人　宮崎県医師会

（平成14年３月12日制定）

〔表紙作品：絵画〕

Alice

宮崎市　大塚（おおつか）早智（さち）

会長のページ

外国人患者

河野雅行（かわの まさゆき）

最近，外国人の受診が増えています。アジア系の人々が多く，当県では製造業や建設業，農・林業関係の実習生や労働者が多いようです。外国人の診察には多くの課題があり，最も大きいのは言葉の壁です。一口にアジア系と言ってもそれぞれ言語が異なり，共通語はありません。中には日本語が堪能な人もいる一方，母国語しか話せない人もいます。しかも，最近は人出不足のためか通訳を帯同せずに事業所から単独で突然受診される人もいます。私も片言の外国語交じりの変な日本語を駆使してなんとか主訴は理解できても病歴や細かい症状まで理解するのはなかなか困難です。更に，検査や診察の結果，治療方針等々を説明するには大いなる労力と時間を要します。

そのような状況に悩まされている中，便利なグッズを見つけました。安価で小さな翻訳機です。少し時間はかかりますが，英語は勿論，中国，フィリピン，ベトナム，タイ等々多くの言語に対応できます。ただし手持ちの簡単な器具では長い構文の会話には対応できません。短い会話で伝えればほぼ完全に通訳できます（と思います）。使用し始めてからは診療の緊張感が少し緩み，外国人に対してそれほどの苦手意識は感じなくなりました。

なお，日医の医賠責保険に付帯されている医療通訳サービスというものがあります。年間20回まで無料で利用できる電話通訳とスマートフォンアプリで利用できる機械翻訳です。本会が来年２月に行う「外国人患者対応に関する研修会」の中で通信機器を用いたデモンストレーションなどを予定しておりますので，外国人患者対応に不安がある先生はぜひご参加ください。

国のデータによると観光客を除く外国人の日本国内居住者は195か国から307万人（2022年人口の２％，宮崎県人口の約３倍）になります。これだけ多くの人々が暮らしているのであれば，街で見かけるのもそれほど珍しいことではありません。今後は短期就業の人たちも含めて安心して居住可能な環境作りにも取り組むべきです。

法律的には日本国籍を持つ人を日本人としていますが，純日本人の定義は難しく，ある人によれば日常的に日本語を使用することが第一条件だそうです。その面からも日本居住の外国人にはまず日本語をしっかり勉強してもらう必要があります。日本人は歴史的にも遥か昔にさまざまな地域から人々が移住し次第に融和して今の形になったと解説されています。伝説では日本原住民としてコロボックルなる人たちがいたそうです。その後，北方や南方ルート，朝鮮半島経由などで新しい知識や技術を持って渡来して定住したようです。現代はどこの国からでも港や空港を通して簡単に来日できます。こうした人々が日本に定着して，未来から返り見れば多人種の混血により新しい日本人が作られてゆく過程なのかもしれません。今までも可能であったように自然に融和してゆくのではないでしょうか。それが人口減少の歯止めにつながる期待も持てます。最近増えた外国人を診察しての感想です。

（令和５年10月16日）

日州医談

女性医師が働き続けるための環境を考える（医療現場の男女共同参画を目指して）

宮崎県医師会 理事　上山貴子（うえやま たかこ）

まず今回のテーマを考えた時，学生時代や卒後産婦人科に入局した時のことを考えました。学生時代私の学年は総数120名中女子学生10名。卒後産科婦人科学教室に入局。同期の入局者は９名と多いほうでしたが女性は私１人でした。

当時医局に在籍していた女性医師は私を含めて８名。大学勤務の女性医師は講師が１名，身近な先輩が３名。女性医師２名の入局は５年後でした。

今でこそ産婦人科は，女性医師の多い診療科ではありますが，当時は入局者数も少なく，出張病院に医師を派遣することが困難となり，やむを得ず派遣先の人員を削減，若しくは撤退せざるを得なくなってしまったということがあり，医局の人事は大変苦労されたのではないかと思います。

このような状況の中，２人の女性医師がほぼ同時期に結婚，妊娠，出産しました。当時の医局は女性医師に対して産休，育休，その後の職場復帰などの体制が整っている状況ではありませんでした。

そこで女性医師の処遇について医局と交渉したのは，当時まだ子育て中だった講師の女性医師でした。最終的には主任教授と交渉し後輩たちが妊娠，出産，子育てしやすい環境を整えるきっかけになったと思います。

さて，現在はどうでしょうか。全国の医師数は，令和２年12月31日付で339,623人，平成30年より12,413人（3.8％）増加しており，男性医師数は262,077人で77.2％，平成30年より5,788人（8.1％）増加。女性医師数は77,546人と初めて７万人を超えましたが，全体に占める割合は22.8％で男女比はまだまだ開きがあります。平成22年が女性医師の比率が18.9％であることからすると，女性医師の割合が年々増加してきているということは周知の事実です。

年齢階級別から見ると，すべての階級で男性医師の割合が多いと報告されていますが，年齢階級が低くなるほど女性医師の割合が高くなっており，30〜39歳では31.2％，特に29歳以下においては36.3％女性医師が占めています。

また近年医学部入学者の女性の占める割合も３割を超え，大学によっては40〜50％に女子医学生が占めているところもあり，やがて女性医師４割時代が到来するだろうと言われていましたが，すでに令和５年５月１日現在宮崎大学医学部医学科の１年生は101人中52人が女子学生です。

一方女性医師の就業率は，医学部卒業当初は男性医師とほぼ同等ですが，卒後11年で76.0％に減少します。その後再び上昇しいわゆるＭ字カーブを示しますが，当初の就職率までなかなか回復しません。卒後の10年間は医師としてのキャリア形成の時期ではありますが，多くの女性医師は，結婚，妊娠，出産，子育ての時期と重なります。女性医師にとってこの時期の子育てなどの環境が整うことで自らの意思で勤務を継続していくことが可能になるのではないかと考えます。

日本医師会では，女性医師の就労継続の支援として，何が求められているかということを明らかにするために「女性医師の勤務状況に関する調査」を平成21年３月に行い報告しています。

その結果，女性医師の勤務環境改善のために基本的に必要なこととして「医師全体としての勤務環境の改善」ということが指摘されました。

女性医師が勤務を続けていくことが勤務医を含む医師全体の就労環境の改善につながり，よりよい医療提供体制の実現につながるということが重要ではないかと思います。

更に，女性医師が勤務を継続するために必要とされる支援策としては以下のことがあげられました。

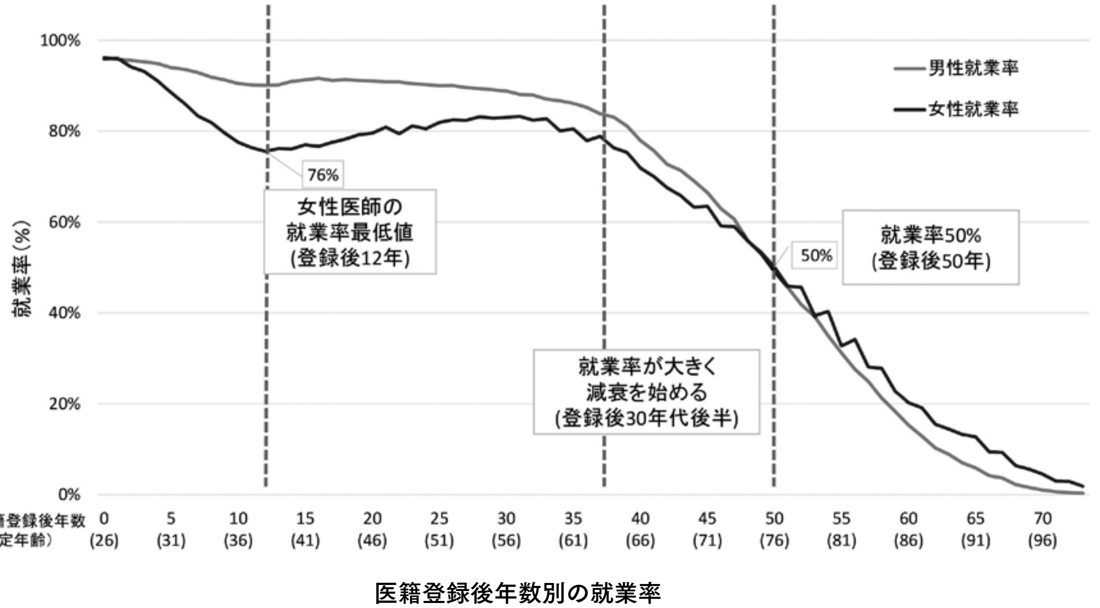
１．柔軟かつ多様な保育システム（24時間保育を含む院内保育，病児保育，学童保育の整備，それらの情報提供など）
２．就労形態の多様化（フレックス制や短時間正社員制度，複数主治医制やチーム医療体制の確立）
３．再教育・復職支援システム
４．周囲を含む意識改革
５．相談窓口の設置

日本医師会男女共同参画委員会ではこのような支援策を実効性のあるものにするために，平成17年から毎年日本各地で「男女共同参画フォーラム」を企画し，男女共同参画の視点を取り入れた医師の働き方，医療現場における意識改革などを提言してきました。今年で17回目となり今回は「医師の働き方改革に寄与する男女共同参画を目指して」というテーマで開催され，医師の働き方改革への取組みや男女共同参画のための支援の具体例が紹介されました。

宮崎県医師会としても，すでに妊娠・出産・子育て中の女性医師等に対してのさまざまな事業に取り組んでいます。

平成21年より	女性医師等相談窓口開設
平成23年より	地域医療現場における働きやすい環境を考える会発足
平成27年より	女性医師等保育支援サービスシステム事業開始 女性医師等就労改善支援補助金制度開始
平成29年より	婚活支援事業開始
令和３年より	女性医師復職・再研修・キャリアアップ支援補助金制度開始

女性医師が働き続けるためには環境の整備，制度の充実，施策の実践が重要と考えます。そして女性医師の勤務環境が充実してくることが女性医師，男性医師問わず，すべての医師が余裕を持って職場環境を整えていくことにつながるのではないかと思いました。



医籍登録後年数別の就業率

※2008年～2018年の医師・歯科医師・薬剤師調査（医師届出票）および厚生労働省から提供された医籍登録データを利用して作成
※推定年齢は医籍登録後年数が0年の届出票の満年齢(12月末時点)の平均値が26.8歳であることを考慮し設定

随　筆

待つということ

宮崎市　たにぐちレディースクリニック　谷口二郎（たにぐち じろう）

50年前，まだ私が学生だったころ，彼女とデートの約束をしました。場所は東京の西武池袋線の池袋駅の出口。西武デパートがある所です。しかし約束の時間になっても現れません。30分，１時間経っても現れないのです。どうしたのだろう。約束を忘れてしまったのかなぁ。それとも何かあったのだろうかとやきもきしながらイライラして待っていました。

当時は駅の出口の所には黒板で作られた伝言板があり，そこにチョークで伝言を書き込めるようになっていました。例えば『今３時30分。急に用事ができたのでまた連絡ください』『２時間待っていましたが会えなかったのでまた会いましょう』などと伝言が書かれていて，その後に本人の名前を書き込むのです。２時間ぐらい経つとまた違う人がそれを勝手に消して伝言を描くというものでした。今考えると実にのんびりした時代だったのです。

あまりにも彼女が来ないので，そこに書き込もうと一歩踏み出した瞬間彼女を見つけました。なんと彼女は私の立っていた建物の柱の反対側でずっと待っていたというのです。つまり１m幅位の柱の裏表でずっと２時間もお互いに待っていたということになります。その相手が今の家内です。もしそこですれ違っていたら，別の人と結婚していたかもしれないのです。２時間も待つなんて今の人からしたら考えもしないでしょうが，当時はそのような時代だったのです。つまり待つということがあまり苦痛なことではなかったということです。

さて開業した37年前，当院ではマタニティスイミングをやっていました。お腹の大きな妊婦さんが水着に着替えプールの中で水中座禅などを私と一緒にやるのです。その中に分娩の呼吸トレーニングの一つとして息堪えの練習がありました。息を止め潜るとプールサイドからコーチが「50，49，48，47…」と数を数え，その間は水面に頭を出すことができません。ところが長い時間に感じるのです。我慢ができない私は，だいたい10ぐらいになると苦しくなって頭を水面に出してしまうのです。とにかく呼吸を止めているというのは苦しくて大変なのです。するとコーチが「谷口さん，まだ30秒しか経っていませんよ。もう少し頑張らないといけませんね。とにかく我慢して“０”になるまで待つようにしてください。今のようでは他の妊婦さんに笑われますよ」。確かに10人ぐらいの中で一番私が我慢できないのです。つまり『待てない』のです。

しかし今や待たないということがトレンドです。コストパフォーマンスと言われる対価を求める言葉に続いて，タイムパフォーマンスつま

り『タイパ』という言葉が独り歩きをしています。つまり待つというよりも，いますぐに問題を解決する世の中になっているのです。一昔前までは分からないことは辞書を開いて調べていました。それでも分からないときはいろいろな人に尋ねていました。今はどうでしょうか。分からなかったらすぐスマホで検索すれば分かります。物を調べるだけではなく，近くのどこに美味しい店があるのか，どこにコンビニがあるのか分かります。買いたいものも店に行かなくても買うことができ，しかもそれを配達までしてくれるのです。その他に天気予報，ニュースなども即座に知ることができます。つまりそれらの行為に共通なのは待ち時間“０”なのです。

一昔前までは手紙を書いていました。それを出して返事を待つまで何日もかかりました。その間ずっと待っていたのです。今や手紙を書くこともほとんどなくなりました。LINEですぐ連絡し返事が返ってきます。地図を調べなくても今どこにいるのかが画面に表示され，目的地まであと何分，バス電車の時刻表まで分かります。だからいろいろ調べるのは面倒くさいということでスマホは手放せません。しかもゲームセンターに行かなくてもゲームができるし，映画館に行かなくても映画鑑賞ができます。食べたいものを配達してもらうのも簡単です。注文すれば即座に30分ぐらいで食べ物が届くでしょう。つまり待つことは美徳ではなく時間の無駄遣い，浪費ととらえられているのです。

そういうことが当たり前になってくるとどういうことが起こってくるのでしょうか。それは時間のかかることを避けるようになるのです。食事の準備も冷凍ものを温めるだけ，どこかへ出かけるのも面倒くさくなります。子どもを産み育てるということさえ子どもが欲しいと思っても，妊娠して，出産するまで10か月もかかります。育てるには自分の時間をけずらなくてはいけません。しかも，お金もかかります。つまり「コスパ」も「タイパ」もかかるのです。だから結婚が面倒になってしまうのです。

そう考えると待つということは大切なことです。早くて便利というのは確かにありがたいことです。しかし世の中には“待つ”ということも重要なことだと思います。今の自分がはたして一日の中で待っている時間がどれだけあるか考えるときが来ています。世の中「タイパ」だけでは生きていけないのです。

随　筆

砂でつくる夢と感動2023

延岡市　井上病院　石橋俊秀（いしばし　としひで）

今年は５月３～５日にかけて「2023吹上浜砂の祭典」が南さつま市で開催された。今年のテーマは「アニマルワールドツアー～世界の名所で出会う動物～」となっていて，全部で砂像37基が制作された。

令和５年５月３日（祝日）に吹上浜が一番有名なのでまず行ってみた（入場料は無料）。連休ともあって，非常に賑わっていたので，駐車場を探すのが大変だった。

お祭り広場にはポピーやパンジーなどの沢山の花やサイクリングをしている親子連れが目に付いた。次に砂像を見つけた。公園の入り口に小さな砂の城が１基，高さ２ｍくらいのカエルと亀のモニュメントが１基とかなり大きな砂像（ライオン，サイ，ゴリラやペンギンなど，写真１）が陳列されていた。

写真１　吹上浜の砂像

他の場所に砂像があるかもしれないと考えて，砂丘の方に行ってみた。途中で，「蘇る吹上浜白砂清松（はくしゃせいしょう）の森」という棒を見付けた。唐津市の「虹の松原」と福岡県新宮海岸にある「盾の松原」を思い出した。どこでも防砂林の復活に苦労しているようだ。近くから蝉の鳴き声が聞こえてきた。『この辺りはすでに夏らしい』と，思った。また，「ウミガメを守りましょう」の看板が設置されていた。

お祭り広場に戻ったら，キッチンカーもたくさん出ていた。昼時だったので，マフィンを買って食べた。総合案内所で砂像について尋ねると，吹上浜海浜公園はサテライト会場となっていて，新型コロナ対策のため４会場に分散されていて，ここには３基しかないとのことだった。「上浜砂の祭典　会場全体マップ」をいただいたので，他の会場についても調べた。市役所から本町エリアは徒歩約５分，麓エリアまでは約10分，本町エリアから麓エリアは約５分となっていた。

次に南さつま市役所前＝Ａ会場（アフリカ・ヨーロッパゾーン）に行ってみた。臨時駐車場が河川敷に設けてあった。ここがメイン会場なためか，たくさんの人で賑わっていた。砂像28基が勢揃いしていた。トトロとネコバス（写真

写真２　トトロとネコバスの砂像

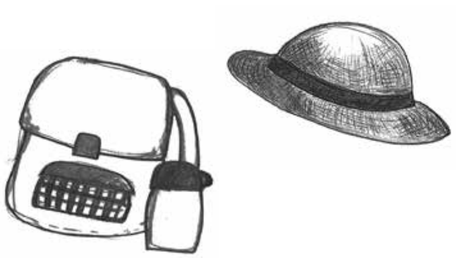
２），パンダ，ナマケモノなど多種類の動物たち。「2023砂の祭典　まちなかスタンプラリー」にそって，スタンプを集めると，くじ引きや豪華賞品が当たる抽選に挑戦できるとのことだった。

少し離れた麓エリア＝指宿亭などがある地区（アジア・オセアニアゾーン）に行った。「いにしえガイドの歴史解説」や「加世田鍛治の技実演」など学びのエリアになっていた。このエリアでは砂像３基が分散配置されていた。簡易トイレが公園に設置されていたので，助かった。また，狐のお面を被った青年男女が街中を練り歩くのが目を引いた（幻空堂の狐の練り歩き）。人力車に乗った親子３人が絵になっていた。

最後に本町エリア＝C会場（北米・中南米ゾーン）に行った。ここにはいろんな出店があり，飲んだり，食べたりを楽しんでいる人が多かった。私は牛ステーキ串を買って，歩きながら食べた。

お知らせ

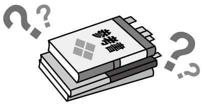
カット，イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ，作品をお寄せください。

なお，白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先　宮崎県医師会広報委員会
〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp



あなたできますか？

－令和４年度　医師国家試験問題より－

（解答は41ページ）

1．溶血性尿毒症症候群でみられるのはどれか。**２つ選べ。**

a　LD高値
b　破砕赤血球
c　血清補体価低値
d　網赤血球数低値
e　抗ADAMTS-13抗体陽性

2．**性感染症でない**のはどれか。

a　梅毒性肝炎
b　Ｂ型急性肝炎
c　日本住血吸虫症
d　アメーバ性肝膿瘍
e　肝周囲炎〈Fitz-Hugh-Curtis 症候群〉

3．妊娠高血圧症候群の重症化の指標となるのはどれか。

a　血小板の減少
b　呼吸数の減少
c　下腿浮腫の悪化
d　子宮収縮の増強
e　尿蛋白/クレアチニン比の低下

4．左室駆出率が低下した心不全を増悪させる薬剤はどれか。

a　スタチン
b　ベラパミル
c　ACE阻害薬
d　SGLT2阻害薬
e　プロトンポンプ阻害薬

5．ポピュレーションアプローチに該当するのはどれか。

a　肥満者対象の脂肪吸引
b　全職員対象の敷地内禁煙
c　高血圧患者対象の内服治療
d　長期欠席児童対象の心理相談
e　うつ病患者対象のカウンセリング

6．瞳孔異常をきたす原因と所見の組合せで**誤っている**のはどれか。

a　急性緑内障発作 ―――――― 散　瞳
b　交感神経作動薬 ―――――― 散　瞳
c　Horner症候群 ―――――― 散　瞳
d　動眼神経麻痺 ―――――― 散　瞳
e　有機リン中毒 ―――――― 散　瞳

7．「周りの景色を見ても生き生きと感じられない。感情がわいてこない」と訴える患者にはどの異常があるか。

a　意　識
b　気　分
c　知　覚
d　見当識
e　自我意識

8．瘙痒をきたしにくいのはどれか。

a　薬　疹
b　蕁麻疹
c　結節性紅斑
d　多形滲出性紅斑
e　アトピー性皮膚炎

9．45歳の女性。日中のだるさを主訴に来院した。第１子の出産後から体重が増え，10年で10kg増加した。健診を受けたことはない。喫煙歴はない。飲酒は機会飲酒。就労はしておらず，運動習慣はない。身長152cm，体重65kg。血圧 144/92 mmHg。尿所見：蛋白（－），糖３＋，ケトン体（－），潜血（－）。血液生化学所見：総蛋白7.4g/dL，アルブミン4.0g/dL，尿素窒素14mg/dL，クレアチニン0.7mg/dL，尿酸7.2 mg/dL，血糖188mg/dL，HbA1c8.2%（基準 4.6～6.2），総コレステロール252mg/dL，トリグリセリド220mg/dL，HDLコレステロール36mg/dL，Na135mEq/L，K4.6mEq/L，Cl101 mEq/L。12誘導心電図で異常を認めない。

食事療法の内容で正しいのはどれか。

a　食塩摂取量を10g/日未満とする。
b　蛋白質摂取量を35g/日未満とする。
c　脂質は飽和脂肪酸を50g/日以上とする。
d　総エネルギー摂取量を1,800kcal/日とする。
e　総エネルギー摂取量の40～60%を炭水化物由来とする。

エコー・リレー

（579回）
（南から北へ北から南へ）

関ヶ原の想い

延岡市　延岡リハビリテーション病院　髙橋恒太（たかはしこうた）

初めて，「関ヶ原」を聞いたのは，『秋天高く馬肥える，秋たけなわの今日こそは我等のための「関ヶ原」…』運動会応援歌だ。もう60年以上前のこと。それから，司馬遼太郎の「関ヶ原」を購読した。

大河ドラマの「葵　徳川三代」関ヶ原の合戦シーンはテレビ至上最高，私史上でもお気に入りの場面である。家康役の津川雅彦は，憎たらしいが演技力はさすが。三成の旗印「大一大万大吉（だいいち・だいまん・だいきち）」と読み，その意味は「一人が万民のために，万民は一人のために尽くせば，天下の人々は幸福（吉）になれる」。日本ラグビーの「ONEチーム〜OURチーム」に通じる。

さて，慶長５年（1600年）９月15日に１日で決着がついた天下分け目の戦い。今では，真相は諸説さまざま…。

そして，コロナ前の還暦旅行でついに念願が叶う。家康が布陣した桃配山（壬申の乱で勝利した大海人皇子の陣所），三成は笹尾山（ここは標高200ｍの低山陣跡で楽勝で登れた観光スポット）。私の一押し『義を貫いた武将』・大谷吉継は小早川秀秋の裏切りを予想しており，秀秋の陣・松尾山（高みの見物）の真正面，山中村に陣を定めた。しかし，彼も麓の赤座・小川・朽木・脇坂の離反までは，予想できず。山頂までは歩いて30分。かなり疲れたが，景色は抜群で今でも目に浮かぶ。ただしその日は，就寝時に「芍薬甘草湯」のお世話になった。

そして，現在は2020年10月21日に完成した「岐阜関ヶ原古戦場記念館」に，ぜひとも訪れたい。兵どもの夢の跡地に！

〔次回は，宮崎市の中尾 紘一先生にお願いします〕

100点満点

宮崎市　坂田整形外科クリニック　坂田勝美（さかたかつみ）

先日，大学時代の友人のSNS投稿に，中学時代にテストで数学が98点だったときの話がありました。友人が大学生のときに亡くなった父親は高校教師でしたが，その父親に「満点なら110点にも，120点にもなる。98点ならそれで終わり。だから満点じゃないと駄目なんだ。」と深夜までかけて言われたことがあったそうです。その友人も父親となり，中学生の子どもが数学満点を持って帰ったとき，ほろ酔いなのもあってうれし涙が出てしまうという内容でした。

私にも中学のころ担任の先生に教えられ，今も心に残る言葉があります。「問題が自分で解けた時点ではまだ80点。その問題をほかの人に説明することができたら90点。説明を聞いた人がその問題を解くことができてはじめて100点となる。」というものでした。

うちの子も受験生となり，最近は勉強を少しはがんばっているようです。その子にこの言葉を伝えたのですが，響いたかどうかはわかりません。休憩ばかりしている子の背後で，「お父さんはもう少し勉強していたと思うけどな」とつぶやくのがやっとです。

医療の進歩は目覚ましく，病気の考え方や治療法，薬など，新しいものがどんどん出てきており，遅れないようについていくのも大変です。勉強の日々が続きます。

日常の診療でも，患者さんに説明する際，できるだけわかりやすく説明することを心掛けていますが，本当に理解してもらい100点を取るのはなかなか難しいと思う日々です。

〔次回は，宮崎市の秋月 英治先生にお願いします〕

メディアの目

唇を奪われた夏

毎日新聞　宮崎支局長
か　とう　　まなぶ
加　藤　　学

新聞記者には転勤がつきものである。福岡，熊本，鹿児島，山口そして宮崎と10回あまり移り住んできたが，行く先々の海でシュノーケリングを満喫している。そうなったのは，小学５年の夏，友人の祖母が一人住む五島列島の古民家に子どもたちだけで行って１週間お世話になり，「素潜り三昧」のめくるめく日々を送ってからだ。

宮崎では日南海岸に「ホームベース」と定めている磯があり，波が落ち着いた９月の土曜日，遊泳した。１時間ほど楽しんだ後，岸に向かって泳いでいたところ，視界をゆらゆらと横切る透明な生き物が。行灯のようなアタマに４本の細長い触手をなびかせるアンドンクラゲである。以前腕や足を刺され，痛い思いをした記憶が甦る。一気に４，５匹が視界に入ったから，さあ大変。「群れの中に入ってしまった。早く陸へ戻らなくちゃ」。焦って懸命に平泳ぎで腕をかいていると，水中メガネにぐいと迫る１匹のアンドン。そして…。その直後，上唇に感電したかのような激痛が走った。車に戻り，バックミラーをのぞき込む。じんじんする唇がみるみる腫れてきている。サーフィンをたしなんでいる方はご存じだろう。イスラエルのメーカーが発売している，私が知る限り日本で唯一のクラゲよけ日焼け止めローション「セーフシー」。持参はしていたのだが，「まあ，大丈夫だろう」と高をくくって塗っていなかった。後悔先になんとやら。

インターネットで「近くの皮膚科」で検索すると，診療は最長で午後３時まで。間に合わない。痛みもかゆみもないが，腫れはひきそうにない。市販薬でしのぐかとドラッグストアへ行くも「唇に塗る薬は扱っていない」。その後上唇は更に膨らみ，まるでカモノハシの状態である。「人って一部分が変わるだけで，ここまで人相も変わるのか」と驚いたが，妻は私の顔をちらりと見てはニヤリとし，またちらりとみては，ぷぷっと口を押さえる。楽しそうだ。翌日曜日，休日在宅医の皮膚科を受診したが，先生は一瞥し，無反応。そりゃそうだ。「刺された人体」は年中みていらっしゃることだろう。机上の図鑑を開き，「アンドンクラゲ…，海のスズメバチとありますね」と冷静な一言。粛々とステロイド剤を処方していただいた。休日在宅医制のありがたみをしみじみかみしめた。

宮崎放送の粉川真一アナウンサーは落語家でもある。受診翌日，ラジオ番組でご一緒した折，顛末を話し，マスクを取って見せた。彼は，笑っちゃいけませんけれどもと断りつつ「唇を奪われちゃったんですね！」。山田君，座布団１枚！と心の中で叫んだ。

窮していたコラムのネタとなり，周囲に笑いを届けることもできた夏の一コマである。

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和６年１，２月号に企画いたしております。このコーナーは大変好評ですので，奮ってご投稿をお願いいいたします。

題　材　医事評論，診療閑話，身辺雑記，詩歌，俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど（１枚程度，カラー印刷はできません）

字　数　800字程度（字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締　切　令和５年12月６日㈬

宛　先　宮崎県医師会広報委員会

◎　原稿には「新春随想」と明記してください。
◎　掲載については，広報委員会にご一任くださいますようお願いいいたします。
◎　掲載はおひとり，１編とさせていただきます。
◎　ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせください。
◎　原則として，原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
◎　日州医事は，会員以外（マスコミ・行政・図書館など）にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス（genko@miyazaki.med.or.jp）宛にお送りください。もちろん，それ以外の方法（FAX，郵便など）でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先
宮崎県医師会広報委員会　新春随想係
E-mail：genko@miyazaki.med.or.jp
〒880－0023 宮崎市和知川原１丁目101
FAX 0985－27－6550　TEL 0985－22－5118

※原稿送付の際は，他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル，ご氏名を明記のうえお送りください。

宮崎県感染症発生動向 ～９月～

令和５年９月４日～令和５年10月１日（第36週～第39週）

■全数報告の感染症

１類：報告なし。

２類：○結核５例（男性３例・女性２例）：宮崎市（４例），日向（１例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表１】，年齢別報告数は【表２】のとおりであった。

表１　結核 病型別報告数（例）

肺結核	2
その他の結核（右頸部結核，結核性胸膜炎，腸結核）	3

表２　結核 年齢別報告数（例）

年齢	報告数
20歳代	1
60歳代	1
80歳代	2
90歳代	1

３類：○腸管出血性大腸菌感染症１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は10歳代で，主な症状として腹痛，水様性下痢，発熱がみられた。原因菌はＯ血清群不明（VT型不明）であった。

４類：○日本紅斑熱１例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，発疹がみられた。

○レジオネラ症３例：宮崎市（２例），高鍋（１例）保健所管内から報告があった。年齢は30歳代，60歳代及び70歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，肺炎，下肢脱力がみられた。

○レプトスピラ症１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は５～９歳で，主な症状として発熱，筋肉痛，蛋白尿等がみられた。

５類：○アメーバ赤痢１例：都城保健所管内から報告があった。年齢は60歳代，病型は腸管外アメーバ症で，主な症状として腹痛，発熱，肝腫大，肝膿瘍，大腸粘膜異常所見がみられた。

○ウイルス性肝炎１例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代の男性で，病型はＢ型であった。主な症状として黄疸，食欲不振がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症２例：宮崎市，日向保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と80歳代で，主な症状として髄膜炎，右下肢壊死性髄膜炎がみられた。ワクチン接種歴はいずれも不明であった。

○水痘（入院例）１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として発疹がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

○梅毒８例（男性４例・女性４例）：宮崎市（５例），延岡（２例），日向（１例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代が５例，30歳代，40歳代及び50歳代が各１例で，病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が２例，早期顕症梅毒Ⅱ期と無症状病原体保有者が各３例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，皮疹がみられた。

■５類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は7,930人（定点あたり160.6）で，前月の86％，例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の272％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ，咽頭結膜熱及びＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎で，減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症，RSウイルス感染症及びヘルパンギーナであった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細　菌	EPEC（O153:H21）	1
	EPEC（OUT:HUT）	2
	EHEC（O157:HNM VT1,2）	1
	Salmonella Hadar（O8（O6）:z10:e,n,x）	1
	Salmonella Corvallis（O8:z4,z23:-）	1
	Salmonella Miyazaki（O9:l,z13:1,7）	1
	Salmonella Thompson（O7:k:1,5）	1
ウイルス	Influenza virus AH3	9
	Influenza virus AH1pdm09	1
	Echo virus 3	1
	Adeno virus 1	1
	SARS-CoV-2	1

咽頭結膜熱及びＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は2,605人（44.9）で前月の約2.0倍であった。また，例年（0.02）と比較して大幅な増加がみられた。宮崎市（61.0），延岡（58.9），中央（57.0）保健所からの報告が多く，15歳未満が全体の約8割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は3,385人（58.4）で前月の約0.6倍であった。高鍋（75.3），都城（70.3），日南（65.0）保健所からの報告が多く，15歳未満が全体の約半数を占めた。

前月との比較

	2023年９月		2023年８月		例年との比較
	報告数（人）	定点当たり(人)	報告数（人）	定点当たり(人)	
インフルエンザ	2,605	44.9	1,306	22.5	★
新型コロナ※１	3,385	58.4	5,618	96.9	／
ＲＳウイルス感染症	96	2.7	275	7.6	★
咽頭結膜熱	82	2.3	41	1.1	★
溶レン菌咽頭炎※２	367	10.2	195	5.4	★
感染性胃腸炎	694	19.3	811	22.5	★
水痘	22	0.6	19	0.5	★
手足口病	535	14.9	579	16.1	★
伝染性紅斑	0	0.0	2	0.1	
突発性発しん	64	1.8	102	2.8	
ヘルパンギーナ	49	1.4	188	5.2	
流行性耳下腺炎	6	0.2	6	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	1	0.2	
流行性角結膜炎	24	4.0	31	5.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去３年の平均）より報告数が多い
※１ 新型コロナウイルス感染症
※２ Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向〈2023年９月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は43人（3.3）で，前月比110％と増加した。また，昨年９月（2.3）の約1.4倍であった。

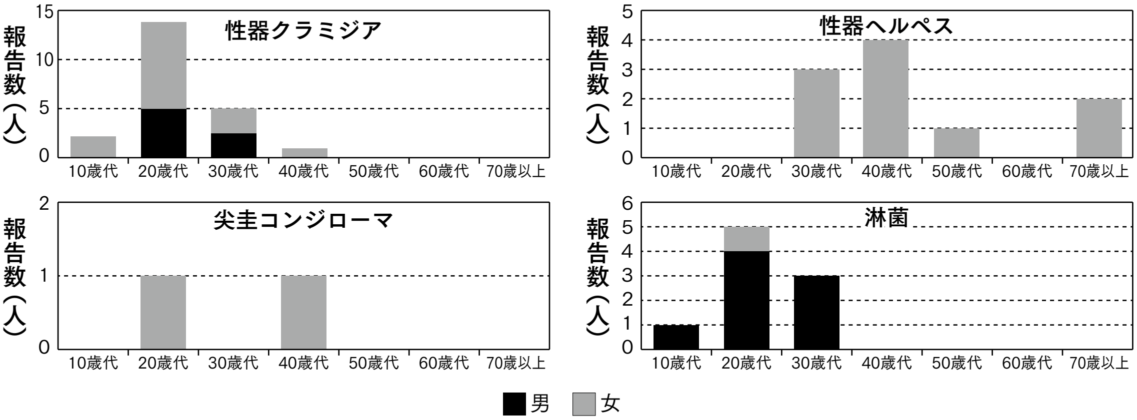
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数22人（1.7）で，前月と同程度，昨年９月の約1.2倍であった。20歳代が全体の約６割を占めた。（男性７人・女性15人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人（0.77）で，前月と同率，昨年９月の2.0倍であった。（女性10人）

○尖圭コンジローマ：報告数２人（0.15）で，前月及び昨年９月と同率であった。（女性２人）

○淋菌感染症：報告数９人（0.69）で，前月及び昨年９月の約2.3倍であった。（男性８人・女性１人）



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人（3.0）で，前月比81％と減少した。また，昨年９月（3.6）の約0.8倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人（3.0）で，前月及び昨年９月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約８割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症 ：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各郡市医師会だより

西都市西児湯医師会

コロナウイルス感染症の５類移行にともない，街中で，いろんなイベント・集まりが催され子どもたちが参加しているのを見ることが増えました。子どもたちがはしゃぐのを見ると町が活気づくような気がします。一方でインフルエンザの同時流行もあり季節外れの学級閉鎖なども見られます。町中の医者としてできることを，専門科にとらわれずできることを頑張っていこうと思います。

10月に来年度の小学校の就学時検診が行われました。例年は各学校に行き，入学予定の子どもたちを診るのですが，今回は市の施設で３校合同での検診に携わりました。付き添う親も当人も希望に満ち溢れていてこちらも嬉しくなります。しかしながら，就学する児童は年々減少傾向にあり，中学に至っては３年後には統廃合される予定です。子どもたちが将来に夢を持てるような環境作りが行われるといいなあ，と思います。

当医師会では11月に２回（７日，28日）学術講演会を企画しました。ご興味のあるお方はぜひ参加ください。

７日（現地開催のみ）：

『医療連携と心不全ステージごとに予防と治療を考える』

宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 准教授　松浦祐之介 先生

『心不全診療における血圧コントロール』　古賀総合病院 副院長　石川　哲憲 先生

28日（現地開催のみ）：

『AS患者を見逃さない，あきらめない～診断のコツとTAVI治療の現状～』

宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長　木村　俊之 先生

（表題は仮のため変更の可能性があります。）

（上山　裕史）

宮崎市郡医師会

宮崎市郡医師会の医事紛争対策部会では，昨年度は４件（私が担当理事を拝命して以降３件），本年度は８月末までにすでに３件の案件を扱っています。部会では，宮崎市郡医師会員から提出された医療事故報告書について，県医師会で審議を行うために，内容確認と必要情報の整理を行っております。基本的には，100万円未満の賠償請求であれば契約保険会社の対応で，100万円以上の賠償請求となると日医に付託となります。迅速な処理を心掛けていますが，秘匿性の高い情報の確認とやり取りに時間を要することも多くなっています。すでに法律家が介在しているケースもあり，繊細な情報の処理や対応に苦慮することもありますが，当事者の負担が一日でも早く軽減されるよう取り組んでいます。

（眞柴　晃一）

都城市北諸県郡医師会

電子カルテの義務化が話題になっているが，現時点では，導入・維持管理に加え，サイバーセキュリティ対策も必須で，その労力，費用は大きい。導入を躊躇する小規模診療所のみならず，すでに導入後の医療機関でも負担を感じられることがあると思う。また，電子カルテの性能・導入後の対応に各社バラツキが大きいのも問題だ。医療機関の負担軽減を謳って医療DX（Digital Transformation）が推進されているが，現状では負担増大も危惧される。全医療機関の電子カルテ導入義務化には，もっと議論が必要と考える。

（西浦　勇一郎）

延岡市医師会

学術担当の山口です。医学会の開催状況についてご報告します。令和４年度は34回開催されましたが新型コロナ感染の影響もありすべてがWeb単独または会場とのハイブリッド形式で開催されました。５類移行後もこの状況はまだ続きそうですが，来年は延岡医学会総会の開催に向けて尽力したいと思います。

所属する県立延岡病院では職員に対するコロナワクチン接種を６月におこないましたが接種率が40％以下と低下しています。ハイリスク患者の保護目的からも職員に勧めていきたいと思います。

（山口　哲朗）

日向市東臼杵郡医師会

昨年の１月に新病院で診療開始しましたが，設計の段階から新型コロナウイルス対策と南海トラフ地震を考慮していました。元々，遠距離の移動時には非常食や水分の確保，モバイルバッテリーやサブのスマホなど持ち歩いている性分のため，新病院には大地震や津波に耐えうる構造をお願いしました。建物の免震はコスト上不可能だったため，手術場の免震構造は取り入れました。今後は業務用の地震速報の導入など検討しています。感染対策は広い空間の確保，空気の循環対策などの基本は守った構造になっています。

（稲原　芳生）

児湯医師会

この夏，高鍋町にドミノピザ，シャトレーゼ，コスモス薬品３店目，ドラッグモリ２店目が相次いで開店し，どの店も盛況のようです。来月には当院そばにチェーンのパン屋が開店予定です。高齢化が進む中でも若年者が多い町ではないかと思います。児湯准看主事をしていますが，不登校や赤点が続く生徒もいて対応に苦慮しています。児湯医師会からの補填が多くなってきた学校運営を考慮しながらも，教員の方々や永友校長，蟻塚副校長と相談して，なるべく生徒のためになるよう学校の職員会議に臨む最近です。

（鳥原　康治）

南那珂医師会

県立日南病院は，地域医療支援病院として日南串間地区の医療機関のみなさんとともに地域医療を支えていく立場にあります。地域全体の医療の質向上を実現するには，医師はもちろんのことそれ以外のさまざまな医療職や病院運営を担う事務職員のスキルアップも欠かせません。今年度は新型コロナウイルスで休んでいたコメディカルの交流会や，事務職員向けの研修会，糖尿病などの疾患別研修会，クリニカルパス研修会などを患者支援センターで企画立案し実行に移しています。これらが少しでも医療の質向上に役立つことを願って取り組んでいきます。

（木佐貫　篤）

西諸医師会

昭和48年に建設され，昨年度末で閉校した小林准看護学校校舎兼西諸医師会館が解体される運びとなりました。医師会事務局は現在別館で業務を行っていますが，広い会議室の不足からTV会議システムの研修会などが開催できず，先生方にご迷惑をおかけしております。解体は８月中旬から開始されており，年明け１月中旬までかかる見込みです。解体後は同地に新会館を建設予定であります。解体・新築工事期間中，近隣の皆様にはご迷惑をおかけする可能性がありますが，ご理解をお願い申し上げます。

（寺谷　威）

西臼杵郡医師会

さる８月２日と３日，高千穂峡で「レッドブル・クリフダイビング・ワールドシリーズ」が開かれた。クリフダイビングとは，男性ダイバーは高さ27m，女性ダイバーは21mの飛び込み台からダイブし，技の難易度と芸術性を競う。今回は残念ながら無観客試合であったが，静かな山間の町は選手や大会関係者などで盛り上がった。これまで国際的な催しに当地が選ばれることはまずなく，片田舎であっても工夫次第で集客の可能性がある，と明るい未来が感じられる二日間であった。

（植松　昌俊）

国公立病院だより

国立病院機構宮崎病院

みやお　ゆうじ
宮尾 雄治 院長

　この文書が皆様のお目にとまるころは，しっかりと秋を感じる季節になっていることと想像します。しかしながら近年は異常気象が立て続けにあり，四季が美しいとされる我が国においても丁度よい季節が短くなってきたような感じがします。私はこの国立病院機構宮崎病院において，新型コロナウイルス感染症禍に突入した令和２年４月に院長を拝命いたしました。本来はもう少しどっしり構えてできる仕事を想像しておりましたが，コロナ感染症対策を初めとし，国立病院機構や自治体との連携や調整，それにともなう病院運営に多くのエフォートを割かなければならない状況が続いたこれまででした。同時に地域医療構想にも関連しますが，本県あるいは当院の属する西都児湯二次医療圏における当院の立ち位置やめざすべきあり様を，あらためて深く考えるお時間をいただいたように思います。後先になりましたが，当院の紹介をさせていただきます。当院は日本全国に140施設ある国立病院機構（National Hospital Organization：NHOと略します）の１つです。NHOの中には救急車を年間７千～８千台受け入れるような超急性期を担う病院もありますが，当院の場合は国の政策医療の１つである重症心身障害児者医療を担当する120床と一般急性期医療60床のNHO内でも障害者医療中心の小規模の病院になります。当院のある川南町は人口約15,000人の町で，西には九州山地の東部に位置する尾鈴山があり，東は日向灘に面した町で日本三大開拓地の１つとされています。病院の隣接地にもサギソウなどが自生し国の天然記念物に指定されている川南湿原植物群落があり，自然豊かな場所にあります。南北に長い宮崎県の東の真ん中くらいなので，宮崎市や延岡市ともやや離れており，これらの市内にある高次医療機関への救急車搬送でも１時間前後かかってしまいます。西都児湯医療圏の中で救急医療が完結できればよいのですが，現実は厳しく令和４年度の西都児湯救急の統計でも，救急車の約45％は西都児湯医療圏外への搬送となっています。このように医師不足を指摘される医療圏域に当たりますが，当院においても医師不足は長年の課題であり，地域医療構想などの議論の場もありますが，地域医療を存続させていくためには，宮崎県全体として真剣な議論が今後も必要になってくると思います。当院で働いていただいている先生は，皆様真剣にしっかり医療に取り組んでいただいており，お陰様で病床稼働率も高く，紹介患者様も増加傾向にあります。今後も地域の中で求められる医療を継続して提供できるよう努力していきたいと思います。NHOの病院ですから，安定性と福利厚生は充実しておりますゆえ，少しお手伝いいただけるような先生がおられましたら，いつでもご連絡いただければ幸いです。

　さて，上記のように医師不足が積年の課題であることは述べましたが，昨今は世の中全体どの業種においても人手不足の声が多く上がっております。医療福祉系の業種は，超高齢社会の到来により今後もニーズは高まるばかりと考えられますが，対人的仕事が多くを占めAIや機械化により人手不足を解消しづらい業種です。また我が国も漸くデフレ脱却し，物価上昇がみられるようになり，それにともない賃金も上昇してきておりますが，収入源が決められた診療報酬でしかなく，そもそも私ども公的医療機関では，機構が決めた給与体系に沿ったものになるので，低いというわけではないのですが人員確保のための給与面での裁量が難しい面があります。近年はNHO内でも看護師募集が１回では終わらず２回，３回となることも増えてきています。

定年延長などで働き手の確保も必要ですが，若い人が医療福祉関係を希望しやすい環境を作っていくことも大事なことだと思います。それには，給与体系の見直しや柔軟性を持った勤務時間などをNHO内でも改善していくことも必要ですし，職業としての魅力の発信も必要と思っております。周回遅れではありますが，恥ずかしながら当院も漸く電子カルテが導入されることになり，もうすぐ本稼働です。田舎にある当院のような病院の医師不足の解決策としては，近い将来には遠隔医療などの導入により，専門的医療を派遣なしにできるようなシステム作りも必要になってくると考えております。

この医師会の広報誌にもよく病院全景の写真が紹介されていますが，病院の沿革としては，昭和14年傷痍軍人宮崎療養所の創立に由来し，以前は宮崎県の結核医療の拠点となっていた時期もあります。よく言えば歴史のある病院ですが，新臨床研修制度開始後からの医師引き上げなどもあり，病棟再編縮小（いわゆるダウンサイジング）は国としての地域医療構想が立ち上がる前から行っており，昨年に外来サービス部門などの建物は外壁や屋上の補修，塗装は行いましたが，築年数の長い病棟建替えが積年の課題であります。公的病院ですが，資金援助があるわけではなく，基本的には自収自弁で行うことがNHO内で示されており，がんばってくれている当院スタッフのためにも，あるいはもちろん一番大事なのは，ご利用いただく地域の皆様に安全で安心な療養環境を届けるという意味においても，病棟建替えは早めに実現に持っていきたいと考えております。

最後に私個人のことを少しだけ書かせていただきます。今年還暦を迎え，自分でもやはり無理が利かなくなった感じはあります。しかし私の熊本大学のときの直属の上司は，現在熊本大学の学長の小川先生なので，小川先生のバイタリティーを見ていると私がゆったりすることなど恥ずかしくてできません。当然上記のように医師不足の病院においては，ゆっくりなどしておれませんので，当直も含め専門の循環器の臨床はしっかりやるようにしております。無趣味な私ですが，熊本にいるときには家庭菜園や庭木の手入れは割としっかりやっておりました。コロナ蔓延のころは本当にあまり帰れず，さすがに菜園はやめましたが，庭にある果樹の手入れは熊本に帰るたびに割とまめに行います。自然と触れ合うことと収穫の楽しみなど少しだけ，現場で溜まったストレスの発散に役立っていると思います。

最後に私の現在のモットーを示します。

「着眼大局　着手小局」

病院の将来的な地域における位置付けを考えながら，皆様に喜んでご利用いただけるような病院にしていけるようにできるところからコツコツと努力したいと思っております。

宮崎大学医学部だより

感覚運動医学講座
－眼科学分野－

池田 康博（いけだ やすひろ）　教授

平素より宮崎大学医学部眼科学教室にご理解，ご高配いただき，心よりお礼申し上げます。2019年８月から第３代教授として池田康博が着任し，診療のみならず研究にも力を入れております。緑内障，遺伝性網膜疾患，網膜硝子体疾患などの失明原因の上位を占める疾患のみならず，神経眼科，未熟児網膜症，小児眼科，角膜疾患など幅広い疾患を対象とした医療を提供しております。手術数はコロナ禍でも少しずつ増加しており，2022年度は1,472件（白内障手術564件，網膜硝子体手術288件，緑内障手術264件，斜視手術125件，他）でした。

＜診療体制＞

月・水・金が手術と各専門外来，火・木が一般外来日（新患日）となっております。専門外来は，緑内障，未熟児網膜症，小児斜視弱視神経，ぶどう膜炎，角膜，黄斑変性などの疾患ごとに設置しております。また，月・水・金の専門外来でも新患紹介患者様を受け入れるようになりました。

＜関連病院＞

眼科専門研修プログラムの連携施設として，県立宮崎病院，県立日南病院，済生会日向病院，宮崎中央眼科病院，宮田眼科病院，九州大学病院，JCHO九州病院，麻生飯塚病院があり，宮崎県のみならず福岡県の中核病院が含まれていることが特徴です。

＜近況報告＞

今年は４名の新入局員を迎え，教授１名，准教授１名，助教４名，医員13名で診療，手術，教育，研究などを精力的に行っております。当医局の特徴として若い医局員が多く，日々皆で切磋琢磨しながら，また和気あいあいと仕事をしております。また2023年４月より済生会日向病院に１名常勤を配置することができました。マンパワーを少しずつ増やすことで宮崎県全体の眼科医療に貢献できるようしていきたいと考えております。

＜最近の眼科トピック＞

最近のトピックとして，遺伝性の網膜疾患に対する遺伝子治療と遺伝学的検査が保険収載されました。眼科では難病に対するゲノム医療が始まります。当院でも遺伝子治療の医師主導治験（第1/2a相）を実施しております。今年度中に結果をまとめ，来年度に公表する予定です。並行して，遺伝子治療の企業治験を実施する準備を進めており，本邦の遺伝子治療の拠点となるべく，積極的に活動しております。

緑内障手術における低侵襲化もトピックの一つで，低侵襲緑内障手術（minimally invasive glaucoma surgery：MIGS）が最近の主流となってきています。MIGSとして，線維柱帯切開術眼内法，iStent inject®，PRESERFLO MicroShunt®などがあります。眼内法は眼内から線維柱帯にアプローチすることで次の追加手術の妨げにならない，または合併症が少なく安全性が高いといったメリットがあり，当院でも症例数が増えております。また，顕微鏡を直接のぞかず，モニターに映し出されたデジタル3D映像を見ながら手術を行う「3Dヘッズアップ手術」が眼科分野では広まってきております。当院でも本システムを採用し，さまざまな手術を行っております。メリットとして，チーム全体（学生を含む）への手術映像の共有により，優れた教育ツールとしても活用できることなどが挙げられます。

最新の医療技術を取り入れながら，宮崎県の眼科医療のために，これからも医局員一同力をあわせて日々邁進していきたいと思いますので，今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

（医局長　日髙　貴子）

専門分科医会だより

（放射線科医会）

杜若（かきつばた） 陽祐（ようすけ） 会長

来年（2024年）は宮崎医科大学（現宮崎大学医学部）が1974（Ｓ49）年６月に開学して50年です。放射線科医会も発足が1977年（Ｓ52）４月ですので，もうすぐ50年を迎えます。この間，放射線医学教室の渡邉克司初代教授以来，放射線科教授が中心となり放射線医会を支えてきましたが，2021年８月からは東美菜子先生が４代目の教授として就任されています。昨年11月５日には３年ぶりに同門会が開催され，東教授の就任祝いをするとともに，新人医師の紹介や教室OB，関連病院の先生との交流で，楽しい時間を過ごしました。

現在の放射線科医会の会員は106人です（男性78人，女性28人）。地域別にみると，延岡市・西臼杵郡７人，日向市・東臼杵郡４人，宮崎市74人，西都市・児湯郡７人，都城市・北諸県郡10人，日南市・串間市１人となっています。放射線科医不足の問題もありますが，宮崎市に約７割が集中しているなど，地域の偏在も懸念の一つです。なお，今年の４月には東教授の積極的な活動もあり，３名の新人が入局し，会員に加わったことは嬉しいニュースでした。

放射線科医会としては毎年，宮崎県画像医学研究会を開催しています。しかし，2022年，2023年ともコロナ禍のため開催されませんでした。また，宮崎CT研究会，MRI研究会，血管内治療IVR研究会，RIカンファレンスなども休会の状態です。しかし，今年の10月６日には第54回宮崎県核医学研究会が開催され，同門の長町茂樹先生（福岡大学放射線部第二教授）が「FDG-PETの来し方行く末」の演題で特別講演をされました。また，他の研究会も順次開催される予定になっています。

学会としては昨年９月10日に会員の尾上耕治先生（宮崎市郡医師会検診センター長）を大会長として，日本消化器がん検診学会九州地方会が開催されました。Web開催になりましたが，尾上先生が「消化器癌検診とともに30年」と題して会長講演をされました。また，今年９月２日には宮崎県医師会医学会で東教授が「画像診断におけるAIの活用」の演題で特別講演をされました。私が座長を務めさせていただきましたが，検査装置から診断までのさまざまな段階で，AIがどのように関与しているかということを分かりやすくご講演いただきました。AIによって放射線科のマンパワー不足が少しでも改善されることを期待しているところです。

放射線科医会は画像診断専門医，核医学専門医，IVR専門医，放射線治療専門医など，幅広い専門家の集まりです。50年前は画像診断の主役であるCTやMRIはまだなく，放射線治療やRI検査ができる施設も県立病院などに限られていました。現在ではCTやMRI装置を有する施設は多く，RI（PET）装置（15施設）や放射線治療装置（８施設）を有する施設も増えています。県医師会の皆様にはそれぞれの施設にいる放射線科医と連絡を取り合っていただき，これらの装置を有効に活用していただきたいと思います。今年も残り少なくなりましたが，今後とも放射線医会をよろしくお願いいたします。

旅 行 記

81歳四苦八苦の四国遍路　その４

宮崎市 高(たか) 崎(さき) 眞(ま) 弓(ゆみ)

同業者もいた

高知の32番禅師峰寺からの下りで，私の後ろに付いてくる少し派手な装いで白いあごひげをはやしたインテリ風の男性がいた。この男性Ｅ氏とは，その後も36番青龍寺の近くで会った。「今日はどこへ泊まりますか？」と聞かれたので,「三陽荘です」と答えると，「私もそこです」と言う。

三陽荘は大きな旅館だった。まだ感染対策が残っていて，１人１テーブルの食事になっていた。夕食を終えようとしたころ，私の席にＥ氏が現れた。

彼も私を気にしていたようで，高知の酒「酔鯨」を飲みながら話をしたら，札幌で皮膚科を開業していたが，３月で後輩に継承して遍路に出たと言う。広島出身の72歳で，雪とスキーに憧れて北海道大学医学部へ進み，学生時代はスキー部で活躍。スキー部にいた小樽出身の奥さんと結婚して今に至っている。奥さんはまだ仕事を続けているので，ゴールデンウィークのときだけ四国で合流して一緒に歩くとのこと，いいね。

リタイア後の医者で四国遍路を歩いているのは，私だけではなかった。彼とはその後も会った。標高750ｍの60番横峰寺への上りで会ったが，１番まで戻り，高野山の奥之院まで行くと言っていた。９歳若いと元気だ。

民宿岡田の名物親父さん

66番雲辺寺は愛媛と香川の県境だが，寺は徳島県にある。標高910ｍ。ロープウェイもあるが，もちろん歩いて上がる。そのためには，前日「民宿岡田」に泊まる必要がある。ここは雲辺寺のベースキャンプだ。ここから雲辺寺まで３時間，下りは次の67番大興寺まで10kmで，３時間はかかる。

「民宿岡田」の親父さんは94歳。58歳で定年退職して民宿を始めたという。私が泊まった当日も，途中でへばった女性２人を車で迎えに行った。体にはペースメーカーが入っているらしい。娘や息子の嫁が手伝っているようだが，いまだ現役だ。

そういうと，室戸岬の直前に泊まった「民宿徳増」では，柔らかく煮たたけのこや温かい天ぷら料理を出してくれたが，あれは大正11年生まれ101歳のお婆さんの手料理だった。一緒に写真も撮ってきた。

民宿では，ご飯は自分で炊飯器から茶碗によそう。もりもり食べる人もいれば，あまり食べない人もいるから，自分の好きなだけよそうほうがいいでしょうと民宿の人は言うが，手間を省くためでもある。ところが，「民宿岡田」の親父さんは，立ってきて給仕してくれる。これには驚いたし，恐縮したね。

この親父さんに，「最近，Ｅさんは泊まらなかったかね？」と聞いたら，「昨日泊まった」と納札を見せてくれた。私は内心「１日遅れをとったか」と，悔やんだ。

２寺が同じところにある

弘法大師生誕の地である75番善通寺が華やかなのはわかるが，そのほかの寺はさまざまであ

る。寺の境内にボタンの花を美しく咲かせている寺や，一面シャクナゲで覆われている寺もあり，それぞれ十分に楽しませてくれる。多くの寺は，落ち葉ひとつなくきれいに掃き清められているが，中にはあまり手入れの行き届いていない寺もある。88寺を見比べているのだから，いたし方がない。

寺で驚いたのは，61番香園寺。コンクリート製らしいが鉄骨のような色合いの箱物である。１階は大講堂で２階に本堂と大師堂があり，金に輝く大日如来が祀られていた。

もうひとつ驚いたのは，68番神恵院と69番観音寺が同じ境内に同居しているのだ。神恵院の納経所で墨書きと朱印をいただき，次の観音寺へ行こうとしたら，「次のも書きますよ」と言われてびっくり。慌てて１か所300円の納経料を600円にした。

47日目に88番大窪寺で結願（けちがん）

最終日は86番志度寺近くの旅館を５時半に出立。今日は87番長尾寺を打ち，88番大窪寺で結願だ。

ただ天気予報は雨。長尾寺を出たところでパラパラ降り出した。雨用パンツはすでにはいていたので，ポンチョを取り出した。

その後，雨が激しくなってきたので，「女体山越え」は諦めて車道を歩いた。予定どおり昼に大窪寺に着いた。万歳を叫びたい心境だ。万歳。

前半は足のマメや腰の筋肉痛に苦しめられたが，後半はペースもわかりあまり苦労せずに巡拝した。この時季，四国はどこへ行ってもみかんの花の香りが充満している。そんないい香りが染み込む47日間だった。

「そこにきんかんがなってるから，取って食べてけ。甘いぞ」と，麦の刈り取り作業中の爺さん。10個ほどもらって，食べながら歩いたが，実に甘かった。

大窪寺では，仁王門から入ってお参りしたが，雨で休む場所もなく，すぐ二天門から出た。門前にある「八十八庵」に入るためである。ここで名物の「打ち込みうどん」を食べた。朝５時に軽食を食べ，途中で昨日の残りパンを食べただけなので，豚肉，里芋，ゴボウ，大根，人参などとの煮込みうどんのうまいこと，うまいこと。

午後２時のコミュニティバスで，JR造田駅へ移動し，高松駅へ３時半に着いた。２日かかって歩いたところが，１時間半だ。今日は結願祝いに「JRクレメント高松」という高級ホテルを予約しておいた。

脂肪がなくなり，骨と筋肉と皮だけになった

松山市で１日観光したが，47日間毎日歩いた。1,100km歩いたら，確かに足が大きくなり，帰宅したら以前の靴がきつい。

体重は５kg減った。体内の脂肪はまったくなくなり，骨と筋肉と皮膚だけになった。

歩いている間は，遍路仲間とお喋りをするが，道を間違えないように標識を探している。宿に着いたら，明日やその先，どの道をどこまで行くか，どこへ泊まるか，それ以外のことは考えない。「般若心経」でいうところの「空」の世界に入るようだ。お参りしていると，81年生かされた喜びを感じ，ありがたく感謝の念が湧く。「般若心経」もだいぶ上手になった。

88番大窪寺の10km手前に「前山へんろ交流サロン」がある。遍路博物館といえる施設だ。そこで「四国八十八か所遍路大使任命書」をいただいた。

あるへんろ小屋の筆者

第67回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和５年度九州学校検診協議会（年次大会）

と　き　令和５年８月５日(土)～６日(日)
ところ　ホテル日航熊本（熊本市）

メインテーマ：「将来へつなぐ学校保健～感染症と多様性～」

８月５日～６日に，第67回九州ブロック学校保健・学校医大会ほか関連行事がホテル日航熊本で開催された。６日午前に開催された令和５年度九州学校検診協議会では，心臓，腎臓，成長発育・小児生活習慣病等，運動器の各部門の教育講演が行われた。

心臓部門では，「先天性心疾患をもつ児童生徒の運動制限の状況－当院で管理している患者さんの調査から－」と題し，熊本県医師会学校検診委員会委員／熊本市立熊本市民病院副院長 八浪浩一先生，腎臓部門では，「先天性腎尿路異常によって変わる学校腎臓検診スキーム」と題して，佐賀県小児科医会理事／かすがの杜こどもクリニック院長 大塚泰史先生，成長発育・小児生活習慣病等部門では，「将来に向けての小児肥満対策－肥満の子どもの言い分，親の言い分」と題して，熊本市医師会ヘルスケアセンター小児生活習慣病予防検診班委員／桜十字病院小児科医長 中村俊郎先生，運動器部門では，「学校医及び養護教諭へのアンケート調査から考える運動器検診の現状」と題して，熊本県医師会学校検診委員会委員／おぐに整形外科院長 梅田修二先生による講演が行われた。教育講演と並行して開催された分科会では，眼科部門では「眼科におけるロービジョンケア」と題し，いでた平成眼科クリニック院長 出田隆一先生，

「近視とコンタクトレンズの眼障害」と題し，みやじま眼科院長 宮嶋聖也先生，耳鼻咽喉科部門では，「熊本県における難聴児の精査・診断・療育」と題し，熊本大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師 伊勢桃子先生，「小児の眩暈平衡障害」と題し，同科助教 竹田大樹先生による講演が行われた。

午後からは九州医師会連合会学校医会総会が開催され，次期開催県の河野宮崎県医師会長から，第68回大会は令和６年11月９日(土)にシーガイアコンベンションセンターにおいて，第55

回全国学校保健・学校医大会と兼ねて開催されることが発表された。

その後，基調講演が開催され，はじめに「性的マイノリティに関する啓発者・相談者としての学校医の役割」と題し，ともに拓くLGBTQ＋の会くまもと代表 今坂洋志先生による講演が行われた。LGBTQ＋への差別の根底にあるものは無意識の思い込みや偏見であり，それらが性的マイノリティ当事者の自己肯定感の低さや，周囲の人々から性的マイノリティ当事者への否定的な感情，不当な差別を生んでいる。性について正しい理解が広がることで，性的マイノリティに関する諸問題は解決に近づくと考えている。学校医が学校現場から期待されていることは，①職員研修として求められるセクシュアリティおよびLGBTQ＋の研修など，②LGBTQ＋当事者およびその家族への学校医としての支援の在り方，③LGBTQ＋の児童生徒に対する学校の具体的な対応に関する指導助言で，まず第１歩として，正しく理解してもらうことが重要と考えている。誰かに受け入れてもらえるということは大きな安心につながると講演された。

続いて「これからの学校における精神保健～コロナ禍を経験して～」と題し，熊本学園大学社会福祉学部福祉環境学科教授 城野匡先生の講演が行われた。コロナ禍で３年間近く続いた学校活動の制限は，学校における生徒の精神保健の問題に影響を及ぼしているものと考えている。感染流行後からの不登校の増加，小中高生の自殺の増加をはじめ，種々の課題がみられるようになっている。他方で，令和４年の文部科学省の発表によると「学習面または行動面で著しい困難を示す」生徒は8.8%いるとされ，平成24年の調査を上回っている。このような背景の中，感染症流行の当初には，普段と違う状況になることが一部の生徒にとっては過ごしやすい環境となる状況が，日常の診療の中で見られることもあり，感染症流行時の学校の在り方は，生徒の多様性に合わせた対応の参考になる可能性があり得ると述べられた。

出席者－河野会長，髙木常任理事，
竹崎事務局長，野尻課長，田﨑係長，
平川・横山主事

令和５年度九州学校検診協議会役員会

福田会長（熊本県医），蓮澤会長（九州学校検診協議会）の挨拶の後，慣例により，蓮澤会長が座長に選出され，協議に入った。

協議事項

1　九州学校検診協議会役員，専門委員について

2　令和４年度事業報告並びに収支決算について

3　令和５年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

原案のとおり承認された。

報告事項

1　令和５年度第１回専門委員会について

先に行われた各専門委員会の心臓，腎臓，成長発育・小児生活習慣病等，運動器の各部門について報告が行われた。

2　令和４年度活動報告書について

各県医師会に希望数を送付することについて報告があった。

出席者－河野会長，髙木常任理事，
竹崎事務局長，野尻課長，田﨑係長，
平川・横山主事

令和５年度九州各県医師会学校保健担当理事者会（日本医師会学校保健担当理事との懇談会）

福田会長（熊本県医），渡辺常任理事（日医）の挨拶の後，慣例により，福田会長が座長に選出され協議に入った。

協　議

１　学校におけるHPVワクチンの接種勧奨について（福岡県）

福岡県医師会では，令和４年４月から積極的な接種勧奨が再開されたHPVワクチンについて，令和４年３月に県民向けのリーフレットを作成し，県内の予防接種広域化実施医療機関へ配布した。また，本年４月より新たに９価ワクチンが承認されたことにともない，９価ワクチンおよびキャッチアップ接種に関する情報を加えた同リーフレットの改訂を行い，あらためて医療機関に配布するとともに，行政による接種勧奨において活用できるよう市町村に対しても配布したところである。

あわせて，HPVワクチンの接種対象は，小学校６年生から高校１年生相当の女子であることから，学校のがん教育などにおいて同リーフレットを活用いただくことで，より多くの対象者へ周知し，接種について検討するきっかけになると考え，県教育委員会に対し，各学校におけるリーフレットの配布について提案したが，文部科学省から県教育委員会にワクチンの接種勧奨に係る通知などの発出は行われておらず，宮崎県においても各学校における接種勧奨は行わないとの回答であった。

国全体でHPVワクチンの接種を推進していくべきと考えるが，学校におけるHPVワクチンの接種勧奨に関する各県の取組みがあればお伺いしたい。また，学校におけるHPVワクチンの接種勧奨について，日本医師会から文部科学省に申し入れを行うなどのお考えがあるかお伺いしたい。

各県回答

ほとんどの県で，学校に対する接種勧奨はなされていない状況であり，学校でのがん教育に取り入れる必要性について意見が挙がった。

宮崎県では，HPVワクチンのキャッチアップ接種が令和６年度までの時限的措置であることから，令和５・６年度に，県からの委託事業として「子どもを取り巻く感染症緊急対策事業」の一環である「HPVワクチン接種緊急対策事業」

を実施し，リーフレットを作成し，各学校に電子媒体，医療機関および市町村に紙媒体で送付することに加え，学校教諭，市町村担当者，医療関係者を対象にHPVワクチンに関するセミナーを開催することを報告した。

渡辺日医常任理事

日医から文科省へ，学校においてHPVワクチンの接種勧奨を行っていただくよう再三の申入れを行っている。厚労省が「HPVワクチンに関する調査」において，接種対象者本人やその保護者に意識調査を行い，その結果を令和５年７月28日㈮に公表したが，HPVワクチンを知っているか，という質問に対し，対象者本人の28%，保護者の９%が「知らない（聞いたことがない）」と回答したという結果が出ている。また，保護者の半数が接種について積極的に考えていないという結果があり，文科省に対してこの状況を伝え，時限の迫った問題に対する対応を求めている。

学校においてHPVワクチンの接種勧奨が進まない理由として，国が定める学習指導要領の中で性交について教えることを制限する，いわゆる「はどめ規定」の問題が関係しているのではないかという点については，一部の保護者のクレームから教員を守っているという意見もある。

国では，男子への接種については全く検討されていない。財源の問題が大きいが，日本医師会からは，男子への接種についても，委員会などで発言を続けていく。

また，HPVワクチンに関しては，誤った情報による混乱も見られる。日本医師会としても正確な情報を発信していきたい。

２　医療的ケア児支援センターと学校現場との連携並びに教育委員会への医療的ケア児に係る常勤看護師の確保について（鹿児島県）

鹿児島県では，本年９月に県看護協会に委託し「医療的ケア児支援センター」が開設される予定である。医ケア児は，多くの関係機関からの支援が必要であるが，縦割り行政により支援が途切れることがないようにしなければならない。対象児の情報は，ある程度自治体で把握していると思うが，教育委員会と情報共有できていない。センターを中心としてこういった縦割り行政の弊害をなくし，保健福祉部局と学校現場との連携が促進されることを期待している。

センターを設置している県において，センターと学校現場（教育委員会）と連携して取り組んでいる事例などがあればお伺いしたい。

また，鹿児島県では，学校現場で医ケア児に関わる看護師が非常勤のみだが，県教育委員会内に各学校を支援・指導できる常勤の看護師を雇用して体制を整えるべきではないかと（県教委へ）要望を行っている。教育委員会で常勤看護師を雇用して医ケア児の支援体制を整えている県があれば，その効果などご教示いただきたい。

各県回答

センターと学校現場が連携した取組みについて各県から報告された。熊本県では，大学がセンターを担っているが，まずは市町村または圏域で課題を解決できるよう体制整備を行っている。「医療的ケア児等コーディネーター」，「市町村コーディネーター」，「医療的ケア児支援センター」により，一次，二次，三次対応を行っているとのことであった。さらに，市町村の４課（母子保健，保育，教育，障害福祉）が医ケア児支援体制を整備するとともに，上記各コーディネーターと連携しており，現在18市町村が４課協議を実施しているとのことであった。

教育委員会への常勤看護職員の雇用については，熊本県では現在13市町村に常勤看護師が雇用されていたが，その他の県では，常勤の雇用が難しい状況が報告された。福岡県では，教育委員会内への配置ではないものの，県立学校に勤務する常勤看護職員のうち，「コーディネーター看護職員」を１名任命し，公立学校に勤務する看護職員に対して専門的な助言や支援を行うこととされているが，これまでに支援事例はないとのことであった。

渡辺日医常任理事

現在の学校管理者の年代は特別支援に関する認識が薄く，インクルーシブ教育*を理解しにくいという背景があり，それを念頭に話を進めると，円滑に進む可能性があると考える。

現在の教育体制では，一人ひとりの子どもの能力を伸ばすには，保護者の理解をいただいたうえで，子どもに合った環境で学んでもらうのが望ましい。

学校看護師の配置に関しては，予算が32億円確保されており，３分の１を国，３分の２を自治体が負担することになっている。総額が決まっており，交付金ではないため，まずは自治体から要望を出していただかなければ配布されない。

市町村の学校看護師は市町村が雇うという考えがあるため，確保財源が足りない。自治体ごとに対応が異なるため，どういった点でうまくいっていないのか，担当理事のメーリングリストを活用し，日医へ情報をお寄せいただきたい。

また，こども家庭庁は医ケア児に関しては直接関係していない。学校関係は文科省，在宅の医ケア児は厚労省管轄であり，委員会の委員を重複させるなど，連携を取りやすい体制になるよう依頼している。

２　報　告

１）沖縄県における次世代の健康教育推進事業の変遷（沖縄県）

欠席された沖縄県に代わり，熊本県より本年10月28日の第54回全国学校保健・学校医大会（兵庫）において，本件について発表することが報告された。

３　中央情勢報告

渡辺常任理事（日医）から中央情勢報告がなされた。

第136回中央教育審議会総会における議題として，１つめに「令和の日本型学校教育を担う質の高い教師の確保のための環境整備」について，教師の労働時間が長く精神疾患が増えているが，日本医師会では，２年前から教師の健康管理について発言を行っている。国では，教員１人に教室運営を任せるのではなく，カウンセラーや補助員など非常勤職員を増やして，チームで対応するための予算を付けるとのことであった。

２つめに「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」については，受入れと送り出しの両方から留学生を増やす意図のもと実施されるものである。大学への補助金の減額などの影響により研究ができず，日本の大学の論文数が極端に減っている状況に文科省も危機感を持っているとのことであった。

３つめに「G7富山・金沢 教育大臣会合」については，コロナ禍により，ICTの必要性が増したことから，今後も環境整備を進めていくとのことであった。

続いて，第141回中央教育審議会初等中等教育分科会における議題として，「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在

り方に関する検討会議」について，障害者支援法においては，合理的配慮として，一般校に対して，障害のある児童生徒を受け入れるようにとの基本的な考え方があるが，一方で，一般校での受入れがその子にとってよいことかどうか分けて検討しなくてはならない。医ケア児についても，小規模な自治体では看護師を確保することが難しく，どこまでを合理的配慮として考えるかが今後議論となっていくとのことであった。

文科省としては特別支援学校のセンター的機能を充実させたいと考えており，一般校からの問合せ対応だけでなく，すべての教員に特別支援学校に赴任してもらい，教員同士の交流により，理解を深めていきたいとのことであった。また，不登校・自殺の問題においては，自治体の協力を得た実態分析調査事業が行われているとの報告があった。

医ケア児の問題については，「令和３年度学校における医療的ケアに関する実態調査」が，医ケア児在籍校と看護師が配置されている学校を対象に行われたが，医ケア児を受け入れている学校のうち，特別支援学校では，看護師がいるが保護者の付き添いが必要な学校は674校中164校，一般校においては1,522校中139校との結果が出ている。文科省においては看護師を配置することで問題が解決されるとの考えがあるが，実際保護者の負担は減っていないとのことであった。

その他，日医の学校保健委員会の取組みとして，学校医が地域医療に貢献していることを示すために，冊子「学校医のすゝめ～そうだったのか学校医」が令和６年３月を目途に発刊される予定との報告があった。

出席者－河野会長，髙木常任理事，
　　　　竹崎事務局長，野尻課長，田﨑係長，
　　　　平川・横山主事

インクルーシブ教育…子どもたちの多様性を尊重し，障害のあるなしなどにかかわらず，
　　　　　　　　　　すべての子どもを包含する教育方法。

令和５年度九州医師会連合会学校医会評議員会

福田会長（熊本県医）の挨拶の後，福田会長が議長に選出され議事が進行された。

報　告

１　令和４年度九州医師会連合会学校医会事業について（長崎県）

長崎県より資料に基づき報告と九州各県の協力に対するお礼が述べられた。

２　令和４年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について（長崎県）

長崎県より資料に基づき報告があった。

３　令和５年度九州医師会連合会学校医会事業経過について（熊本県）

熊本県より資料に基づき報告があった。

議　事

第１号議案　令和５年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件（熊本県）

第２号議案　令和５年度九州医師会連合会学校医会負担金並びに歳入歳出予算に関する件（熊本県）

熊本県より説明があり，原案どおり承認された。

第３号議案　第68回・第69回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件（熊本県）

第68回（令和６年度）大会は宮崎県担当で開催することが提案され，承認された。日程は，令和６年11月９日㈯，シーガイアコンベンションセンター（宮崎市）において全国学校保健・学校医大会と兼ねて開催するとともに，前日の８日㈮および10日㈰に関連行事を開催予定。また，第69回（令和７年度）大会が佐賀県担当で開催されることが内定した。

協　議

１　令和６年度九州医師会連合会学校医会負担金について（宮崎県）

本会より，令和６年度は「全国学校保健・学校医大会」と「九州ブロック学校保健・学校医大会/九州学校検診協議会（年次大会）」とを同時開催することから，毎年，九州各県から徴収している令和６年度の負担金は徴収しないことを提案し，承認された。

出席者－河野会長，髙木常任理事，
竹崎事務局長，野尻課長，田﨑係長，
平川・横山主事

ー各種委員会ー

医療保険委員会

と　き　令和５年９月25日(月)
ところ　県医師会館，Web（Zoom）

嶋本常任理事の司会により開会し，委員長には国保審査委員会委員長の菊池先生，副委員長には社保審査委員会委員長の石川正先生が就任，委員は，各郡市医師会および専門分科医会から推薦の先生方により構成されていることが報告された。

続いて，河野会長から「診療報酬，介護報酬，障害福祉サービス等報酬のトリプル改定に向けて財源確保の要望が大変重要である。診療報酬改定率を決定する年末の大臣折衝に向けて，先生方お一人おひとりが地元の国会議員に対して働きかけをよろしくお願いしたい」と挨拶があり，報告・協議に入った。

報　告

1　「令和４年度診療報酬改定の評価」及び「次期診療報酬改定の要望事項」について

嶋本常任理事から，昨年，日医社会保険診療報酬検討委員会の九州ブロック委員からの依頼により，本会会員（FAXニュース）や医療保険委員へ意見募集を行ったことと，九州ブロックから日医へ提出された内容について報告があった。

協　議

1　宮崎県医師会「保険診療の手引き」について

嶋本常任理事から，発刊の目的や作成手順などについて説明があった。その後，石川副委員長から，支払基金の審査事務が九州ブロックでは，各県ごとから福岡県に集約化されていることや審査に関する各県独自の取決事項についても全国統一化を進めていることが説明された。続いて，菊池委員長から，国保についても取決事項の統一化を進めていることの説明があった。

現在の審査状況をふまえ，次年度の作成の編集方針について検討を行い，特に，医科点数表の解釈に記載されている事項や診療報酬改定内容は掲載しないこと，査定される情報や各診療科の個別・専門の審査の各論・要点について，原則，社保と国保で見解が統一しているものを掲載することなどが決定した。

2　診療報酬改定説明会について

厚労省や医師会の診療報酬改定説明会および厚生局の改定時集団指導が，コロナを機にｅラーニングや動画視聴方式に変更になったことをふまえ，本会の説明会についても厚労省や日医の情報を正確に迅速に伝えるために，今後も会員を集めての説明会を行わず，ホームページやメールなどを活用し，日医や厚労省の説明を会員が直接視聴する形で情報提供を行っていくことが決定した。

出席者
県医師会館－菊池委員長，石川副委員長，
　鶴田・玉置・髙木・白尾・
　福嶋・田尻・月野・出水・
　谷口・杜若・福田委員
　河野会長，小牧副会長，
　荒木・市来・嶋本・
　大塚・吉見常任理事，
　佐々木・上山・田畑理事
Web（Zoom）－田中・岡村・稲原・押川・
　佐藤・下村・川越委員，
　吉田・池井常任理事
事務局－久永課長，湯淺課長補佐

医師年金 ご加入のおすすめ

＜認可特定保険業者＞公益社団法人 日本医師会

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

年金検討チェックリスト

- □ 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- □ コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- □ 一生涯受け取れる年金が望ましい
- □ 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- □ 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- □ 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、簡単シミュレーション！

医師年金　検 索

http://www.med.or.jp/nenkin/

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。
ぜひお試し下さい。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

公益社団法人
日本医師会 年金福祉課

TEL：03-3942-6487（直通）
FAX：03-3942-6503
受付時間：午前9時30分～午後5時（平日）
E-mail：nenkin@po.med.or.jp

20150301S9

日医インターネットニュースから

■24年度改定は「異次元の改定」に
― 物価対応は別途検討を，松本会長 ―

松本吉郎会長は９月29日の会見で，財政制度等審議会での財務省の提言を踏まえ，2024年度診療報酬に向けた考え方を示した。通常の改定に加え，物価高騰・賃金上昇，新型コロナ対応という３つの論点があり，「異次元の改定となる」と表現。特に物価高騰への対応について，「従来の改定とは別に検討する必要がある」と主張した。

松本会長は，岸田文雄首相が地方や中堅・中小企業の持続的な賃上げの必要性を訴えていることに言及。「約900万人いる医療・介護従事者の賃金を上げることで，全体の賃上げにつながる」と訴えた。水道光熱費や食材料費の高騰は，医療機関のコスト負担に拍車をかけているとし，対応が必要だとした。

●賃上げは「ストックではなくフローで」

財務省は27日の財政審・財政制度等分科会で，新型コロナ関連の補助金などによる内部留保の積み上がりを，賃上げに活用する方策を検討すべきだとした。

これに対し，松本会長は「賃上げはフローで行うべきであり，ストックを原資とすべきではない」と反論。コロナ補助金は全ての医療機関が受け取っているわけではなく，受け取っていても医療機関の支出は増えていると説明。積み上がり分は，改正感染症法施行後の新たな感染対策の体制整備に充てるべきだとした。

●１人当たり医療費伸び物価上昇率下回る

財務省は，医科診療所の「１受診当たり医療費」が上昇し，近年の物価上昇率を上回っているとした。

松本会長は「受診延べ日数は年々下がっており，コロナ後も十分に回復していない」と述べ，その上で，「診療所１受診当たり医療費が上がったからと言って，経営状況が良くなったとはとても言えない」と強調した。

さらに，「１人当たり医療費」の上昇率は，物価上昇率を下回っていると指摘。１受診当たり医療費ではなく，１人当たり医療費に着目すべきだと主張した。

●給付範囲の見直し，「相いれない」

財務省は，保険給付範囲の見直しに向け，「大きなリスクは共助，小さなリスクは自助」の考え方も打ち出している。

これについて，松本会長は「相いれない考え方を持っている」とした。「皆保険制度では，すでに小さなリスクは定率負担をお願いし，大きなリスクは高額療養費で対応するという基本的な考え方が組み込まれている。日医は，この考え方を堅持すべきと考えている」と話した。

（令和５年10月３日）

■往診の「適正化」が焦点に
― 診療側，分析手法を懸念 ―

中医協総会（会長＝小塩隆士・一橋大経済研究所教授）は10月４日，2024年度診療報酬改定に向け，２巡目の議論を始めた。テーマとなった在宅医療では，診療側・支払い側の双方が，本来は外来受診すべき患者が安易に往診を求めないよう，適正な受診が必要だと指摘した。ただ，往診のデータ分析の考え方を巡っては，診療側と支払い側で意見の食い違いがあった。

厚生労働省は往診について，小児で顕著に増えていると説明。小児の夜間休日の往診・外来受診を分析した結果，普段から訪問診療をしていない小児は，訪問診療をしている小児と比べて，▽急性上気道炎▽新型コロナ▽急性胃腸炎―が多いことなどを報告した。

●患者によって「さまざまな背景」

厚労省は論点の一つとして，往診料を挙げた。訪問診療をしている患者への往診と，訪問診療をしていない患者への往診には，「特性の違い」があるとして，それを踏まえて検討する方向性を示した。

これに対して，診療側の長島公之委員（日医常任理事）は「患者個人の状態によって，さまざまな背景がある」と指摘。訪問診療の有無で一律に区別することが，現場の視点として妥当なのか，「議論が必要だ」と述べた。往診を手がけている施設の機能として，訪問診療のほかに，在医総管・施設総管も考慮すべきではないかと提言した。

池端幸彦委員（日本慢性期医療協会副会長）は，コロナ禍以降，外来受診すべき患者に，往診で対応する動きもあると説明。「ある程度の歯止めが必要だ」とした。

茂松茂人委員（日医副会長）も，「外来でかかりつけ医が診る」必要性を訴えた。

●往診で想定の患者が「困らないように」

支払い側の松本真人委員（健保連理事）は，往診について「訪問診療のあり・なしで，主傷病名や医療内容に違いが見られる」と指摘。往診は本来，緊急時に外来受診できない患者を念頭に置いているが，実態は必ずしもそうなって

いないとの認識を示した。もともと往診で想定している患者が「困らないように対応すべき」と述べ，適正化を促した。

「安易な往診は望ましくない」とも話した。頻回訪問加算の適正化や，在宅療養移行加算の実態把握が必要だとした。

これを受け，長島委員は適正化が必要としつつも，「適正」の考え方が重要だとした。「ＡかＢかという単純な２分法」には問題があるとして，「実態を踏まえた上で，多角的な評価軸が必要。国民・患者の幸福につながるのか，という視点で考えるべき」と力を込めた。

（令和５年10月10日）

■医療機関のキャッシュレス
―「１％超」のポイントは指導 ―

厚生労働省保険局医療課は10月３日までに，医療機関での一部負担金について，「キャッシュレス支払い」自体には問題がないと事務連絡で周知した。ただし，負担金の１％を超えるポイント付与があった場合などは，指導する方針を示した。

●キャッシュレス自体は「差し支えない」

９月29日付で出した事務連絡は，「医療機関等における一部負担金のキャッシュレス支払いについて」。一部負担金の支払いにクレジットカードや電子マネーを導入するのは，患者の利便性向上や，医療事務の効率化の観点から，差し支えないとした。

キャッシュレス支払いに伴うポイント付与については，2012年の課長通知で示した通り，「あくまで当面やむを得ないものとして認める」とした。

●「ポイントで負担金減額」も認めず

しかし，独自のカードなどを用いてポイントを付与する場合，以下のようなケースは，指導するとくぎを刺した。▽ポイントを用いて一部負担金の減額を可能とする▽一部負担金の１％を超えてポイントを付与する▽一部負担金へのポイント付与について大々的に宣伝を行う―。

口頭による指導で改善が認められない時は，必要に応じて個別指導を行う方針だ。

医療課は今回の事務連絡について，「キャッシュレス決済が一般化している時流を踏まえ，使用自体には差し支えがないことと，関連する留意点を示した」と説明している。

（令和５年10月10日）

■トリプル改定，物価・賃金に対応を
― 42団体，要請活動へ ―

日医など医療・介護42団体でつくる「国民医療推進協議会」（会長＝松本吉郎・日医会長）は10月10日に開いた総会で，物価高騰・賃金上昇に対応するため，医療・介護分野の財源確保を求める決議を採択した。2024年度トリプル改定などを見据え，政府予算が決まる12月下旬にかけて，政府に適切な財源確保を求めて活動していく構えだ。

決議では，物価高騰を受け，「一時的ではなく，恒常的な対応が必要」と主張。「支え手が減少する中での人材確保が不可欠であり，政府からも持続的な賃上げが呼びかけられている」と指摘した。

公定価格で運営する医療機関や薬局，介護施設などは，物価・賃金の上昇分を「価格に転嫁することができない」と説明。さらに「日進月歩する技術革新への対応には十分な原資が必要」だとし，適切な財源確保を「協議会の総意として，強く要望する」とした。

●12月４日に「総決起大会」

協議会は12月４日に，国民集会「国民医療を守るための総決起大会」を開き，改めて決議を採択する方針だ。

都道府県協議会には，▽地域集会の開催・決議採択▽国会への意見書提出を促すための地方議員・議会に対する要望活動―などを求める。全国各地からの決議文などを踏まえて，政府に要請活動を展開する。

●必要財源の確保，「非常に重要」

総会で松本会長は，政府の経済対策や24年度予算編成が本格化している現状に言及。「国民の生命と健康を守るためにも，医療・介護分野などにおける物価高騰・賃上げへの対応は不可欠。必要財源を確保することが非常に重要だ」と話した。

（令和５年10月13日）

日医インターネットニュースは，日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。
日本医師会（http://www.med.or.jp/）＞メンバーズ＞日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下２桁，月２桁，日２桁」の６桁の数字（半角）

医師協同組合だより

弁護士との法律顧問契約締結について

令和５年９月１日付で，宮崎県弁護士会所属 弁護士法人きさらぎ 高山　桂弁護士と宮崎県医師協同組合との間で顧問契約を締結いたしました。

高山弁護士は，宮崎市に事務所を開設されており，医療機関を取り巻く環境と経営に関する法律相談全般について，対応していただけることとなっております。

宮崎県医師協同組合無料法律相談

宮崎県医師協同組合では，組合員向けの無料法律相談の窓口を開設することとなりました。医業経営に関する諸問題に加え，

・職員の労務管理
・パワーハラスメント問題の雇用管理上必要な対策
・モンスターペイシェント対応
・医療機関における個人情報管理
・医療安全に関する内部的対応方法

などの幅広い問題に関する相談事例がございましたら，宮崎県医師協同組合にメール，FAXなどの文書で相談内容を送付してください。回答につきましては，顧問弁護士から直接，医療機関の担当者に連絡いたします。初回相談はすべて無料です。

なお，初回相談後の継続相談および具体的業務が生じた場合は，事前にご説明したうえで，有料対応となる場合があることをご了承ください。

宮崎県医師協同組合 相談受付アドレス：ikyou-soudan@miyazaki.med.or.jp
FAX番号：0985-23-9179

高山弁護士ご挨拶

このたび，宮崎県医師協同組合様と顧問契約を締結させていただきました弁護士の高山と申します。まず，私の来歴を簡単に説明させてください。

私の父は，関西で勤務医を経験後，大阪市内で整形外科クリニックの開業医を営んでおります。そのため，私自身，幼いころから医師の皆様方が，医師としての重責を背負いながら診療業務を行うとともに，クリニックの院長として経営業務を行うことがいかに難しく，また大変であるかというものを，家族という視点で見ておりました。

このような経験から，私は，医師の皆様方が医療業務に専念できる環境を実現すべく，弁護士として医療機関の皆様をサポートする立場を貫いてまいりました。

私はこれまでに多種多様な訴訟を経験してまいりましたが，初期対応の誤りにより訴訟にまで発展したケースを数多くみてきました。迅速な初期対応が極めて重要であると考えておりますので，何か気になる点や聞いてみたいことがございましたら，なんら遠慮なくいつでもご相談ください。

末筆ではございますが，今後とも末永いお付き合いのほど，どうぞよろしくお願い申し上げます。

グループ保険（団体定期保険）のおすすめ

死亡保障は
最大4,000万円！

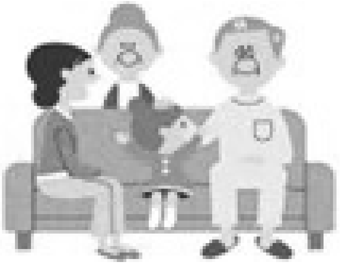
特　徴

①「お手頃な保険料」

スケールメリットを生かしたお手頃な保険料で補償を準備

②「毎年見直しができる」

ライフステージの変化に合わせて補償を毎年見直せます



③「ご家族の補償も準備」※１

配偶者様も一緒にお申込みできます

④「配当金も魅力」※２

剰余金が生じた場合は，配当金を受け取れます

⑤「申し込み手続きが簡単」※３

簡単な告知のみで，医師の診査は必要ありません

※１　本人は1,000万円から4,000万円まで，500万円刻みで加入でき，配偶者は1,000万円まで加入できます。

※２　配当金は毎年変動し，０（ゼロ）となる可能性もあります。

※３　健康状態によっては加入できない場合があります。

【補償内容】

死亡や所定の高度障害になった場合に，お支払いします

【加入資格】

新規加入は満50歳６か月まで，継続は80歳６か月まで

【月額保険料例】

40歳男性，補償金額4,000万円の場合・・・5,240円
45歳女性，補償金額4,000万円の場合・・・5,400円
50歳男性，補償金額4,000万円の場合・・・9,800円

（この保険の詳細などは下記までお問い合せください）

（お問い合わせ先）宮崎県医師協同組合　　TEL：0985-23-9100　FAX：0985-23-9179

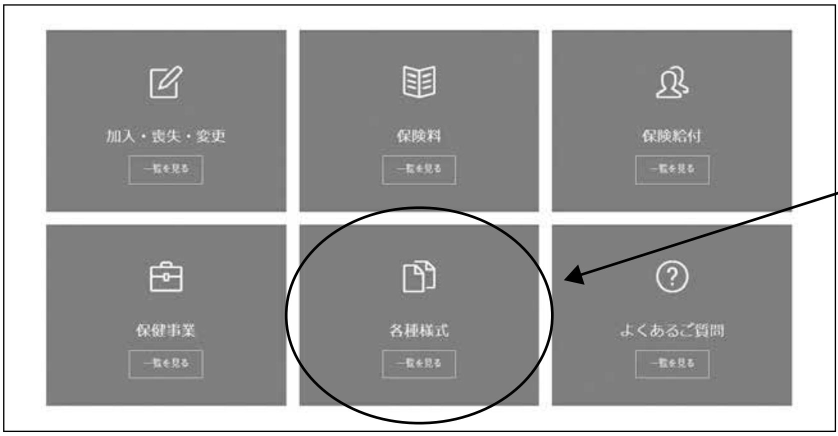
医師国保組合だより

当組合のWebサイトをリニューアルいたしました

組合員の皆様方に利用しやすいWebサイトとなるよう，スマートフォンでの表示にも対応し，ご要望の多かったお問い合わせフォームを追加しました。

「宮崎県医師国保」で検索または，二次元バーコードから読み取ってご利用ください。

【Webサイト二次元バーコード】



各種様式は，こちらから簡単にダウンロードできますので，ご利用ください。

＜医師国保組合へのご加入について＞

会員の先生にとって，廉価な保険料で充実した保健事業を提供する医師国保組合への加入をご検討ください。詳細については，当組合までお問合せください。

＜健康保険適用除外申請の手続きについて＞

事業所が法人化するなどの場合は，社会保険（健康保険と厚生年金）が強制適用となりますが，医師国保にすでに加入中の方は，年金事務所から健康保険適用除外の承認を受けることにより，引き続き医師国保に残ることができますので，Webサイトをご確認いただくか，当組合までお問い合せください。

～保健事業のご案内～

１．健康診断（特定健診）・特定保健指導　※無料です

健康診断（特定健診）

◆ 対象者
　組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者）　※配偶者は75歳の誕生日前日まで
　上記以外の被保険者は，年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）

◆ 日曜日健診について
　宮崎市郡医師会病院健診センターにて日曜日の健診を実施しています。
　ご予約は当組合へ（☎0985-22-6588）　Web申込もできます!⇒

年	月　日	健　診（定員各30名）	オプション 胃内視鏡検査（定員各６名）	低線量ヘリカルCT肺がん検診（定員各８名）	マンモグラフィ検査（定員若干名）
令和５年	11月19日	○	×	○	○
	12月10日	○	×	×	○
	１月21日	○	×	×	×
令和６年	２月25日	○	×	×	○
	３月10日	○	×	×	○
	３月24日	○	×	△	○

（令和５年10月10日現在）　○：予約可，△：間もなく定員，×：予約不可

◆ 自家健診について
　自院でも組合員およびご家族の特定健診を実施することができますが，組合員が自らに対して健診を行った場合（自己健診）は，特定健診の対象とはなりません。
　健康診断個人票（水色）の必須検査項目（★印の項目）は必ず実施してください。

特定保健指導

　対象者には「特定保健指導利用券（無料)」をお送りします。利用券が届いた方は，ご案内に記載している実施機関にて保健指導を受けてください。

２．インフルエンザワクチン接種補助

◆ 対 象 者　被保険者全員並びに高齢組合員
◆ 補助金額　１人１回 2,000 円（高齢組合員は 1,000 円）

３．その他の保健事業

　詳細は、Web サイトまたは組合員宛に送付しております「保健事業の案内」をご覧ください。

１）胃・大腸内視鏡検査の補助
２）脳ドックなどの補助
３）肺炎球菌ワクチン接種補助
４）低線量ヘリカル CT 肺がん検診（無料）
５）乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
６）歯科健康診査（無料）

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023　宮崎市和知川原1丁目101番地　TEL：0985-22-6588　FAX：0985-27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
a, b	c	a	b	b	c	e	c	e

令和５年９月５日㈫ 第６回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．後援・共催名義等使用許可について

①12/３㈰（ニューウェルシティ宮崎）第28回宮崎県理学療法学会の後援について

→「New Stage～理学療法の多様性と可能性～」をテーマに開催される学会で，名義後援を行うことが承認された。

２．令和５年度公衆衛生事業功労者表彰（厚生労働大臣表彰）候補者の推薦について

健康増進，疾病予防，生活衛生，衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で，３名を推薦することが承認された。

３．11/25㈯（長崎）九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における日本医師会への質問・要望事項等について

この協議会で取り上げてほしい日医への質問・要望事項があれば，事務局を経由して会長に提出し，取扱いについては会長一任とすることが承認された。

４．令和６年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業提案及び意向調査結果について

基金を活用した事業提案と病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備事業の意向調査について，各郡市医師会等を通じて照会した結果，意向調査１件の回答があり，県に提出することが承認された。

５．12/14㈭（県医）令和５年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について

金丸常任理事のほか担当役員が出席することが承認された。

６．10/６㈮（日医）令和５年度都道府県医師会母体保護担当理事連絡協議会の開催について

嶋本常任理事の出席が承認された。

７．９/21㈭（県防災庁舎）九州厚生局及び宮崎県による集団的個別指導の実施に係る立会いについて

34医療機関を対象に行われる集団的個別指導で，市来常任理事を立会人として派遣することが承認された。

（報告事項）

１．週間報告について

２．８月末日現在の会員数について

３．９/２㈯（福島）全国有床診療所連絡協議会常任委員会・役員会・総会・講演会について

４．９/４㈪（県庁）県立病院事業評価委員会について

５．８/31㈭（県防災庁舎）県感染症対策審議会について

６．８/30㈬（県防災庁舎）県医療審議会医療計画部会について

７．８/31㈭（県防災庁舎）県地域医療対策協議会について

８．９/２㈯（県医）県医師会医学会について

９．９/４㈪（県医）医学会誌編集委員会について

10．８/30㈬（宮崎労働局）労災診療指導委員会について

令和５年９月12日㈫ 第11回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．本会外の役員等の推薦について

①「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会の委員推薦について

→特定行為に係る看護師の研修制度推進に向けて必要な事項を検討する検討会の任期満了に伴う委員の推薦依頼があり，医療関係者対策担当の池井常任理事と赤須常任理事を推薦することが承認された。

２．後援・共催名義等使用許可について

①10/6㈮（県防災庁舎）SBIRTS（エスバーツ）普及推進セミナーの後援依頼について

→問題飲酒者に対してスクリーニングテストを実施し，依存症の疑いがあれば，専門医療機関や自助グループに紹介するSBIRTSの普及推進のための研修会で，名義後援を行うことが承認された。

②11/5㈰（県防災庁舎）令和５年度日本財団助成事業シンポジウム「つながろうみんなのいのち」〜重症心身障がい児（者）や医療的ケア児（者）の暮らしを支えるために〜の後援について

→重症心身障がい児（者）や医療的ケア児（者）の暮らしを支えるため開催されるシンポジウムで，基調講演では自見はなこ参議院議員が講演をされる。名義後援を行うことが承認された。

③11/30㈭（市民文化ホール）第53回「とっても健康セミナー」ご後援依頼について

→九州内の医学部の協力を得て九州各県をまわって開催する市民向け健康セミナーの本県における開催で，名義後援を行うことが承認された。

３．10/28㈯（西都市）令和５年度宮崎県高等学校総合体育大会　男子第76回・女子第38回宮崎県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

開催地である西都市西児湯医師会に人選を依頼することが承認された。

（報告事項）

１．９/8㈮（県医）日医年金委員会について

２．９/6㈬・11㈪広報委員会について

３．９/７㈭医師会組織強化に係る日医役員の面会について

４．９/9㈯・10㈰（岡山）全国医師会共同利用施設総会について

５．県市町村国保適正服薬促進支援事業について

６．８/31㈭「医療機関の宿日直許可制度及び新様式の36協定届等」に関する研修会について

７．９/７㈭（宮大医学部）宮大医学部医の倫理委員会について

８．９/７㈭（県庁）地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会について

医師連盟関係

（議決事項）

１．10/15㈰（宮観ホテル）「河野しゅんじ県政報告会」のご案内について

協力することと河野委員長が出席をすることが承認された。

令和５年９月26日㈫ 第12回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．会費減免申請について

出産育児による日医・県医会費減免２名，高齢による県医会費減免１名，医学部卒後５年目までの日医・県医会費減免61名の申請が承認された。

２．医療事故調査支援委員会の委員について

任期満了に伴う委員の改選で，本会の医療事故調査支援委員会設置要綱に基づき，新委員３名を含む25名の委員を委嘱することが承認された。

３．後援・共催名義等使用許可について

①12/10㈰（西都市）健康教育講座事業「市民公開講座」ご後援のお願いについて

→「あなたもあぶない！ 隠れ脱水症について」をテーマに開催される市民公開講座で，名義後援を行うことが承認された。

４．令和５年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について

多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著な方に対する表彰で，４名を推薦することが承認された。

５．第123回九州医師会連合会総会における「宣言・決議（案）」について

九医連担当の長崎県医師会より，11月25日に開催される総会で採択する宣言と決議の案に対する意見等の照会があり，あれば事務局に届け出，取扱いについては会長一任とすることが承認された。

６．10/3㈫（宮観ホテル）宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会について

会の進行と役割分担について確認を行った。

７．業務委託について

①令和５年度インフルエンザ定期予防接種に係る広域契約について

→県内の高齢者が居住市町村以外でインフルエンザ定期予防接種を受けることを可能にする契約で，県内各市町村と締結することが承認された。

８．10/19㈭九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

１医療機関を対象に行われる個別指導で，高木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

９．宮崎看護専門学校の課程変更に係わる同意了解について

現在の医療高等課程と医療専門課程の２課程から看護師３年課程定時制（４年修業）の１課程に変更することについて，同意了解することが承認された。

10．12/3㈰（日医）「有床診療所の日」記念講演会の開催のご案内（令和５年度都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会）

「歴史から学ぶ有床診療所，その現在と未来を語る」をテーマに開催される講演会兼有床診療所担当理事連絡協議会で，佐々木理事の出席が承認された。なお，河野会長も全国有床診療所連絡協議会副会長の立場で出席される。

11．11/5㈰（高鍋町）令和５年度宮崎県総合防災訓練に係る多数死体検視等訓練への派遣依頼について

11月５日に高鍋町で行われる多数死体検視等訓練について，訓練への参加及び警察職員への指導を行う医師の派遣依頼があり，県警察医会に派遣を依頼することが承認された。

12．令和５年度都道府県災害医療コーディネーター研修受講者の推薦について

本研修を未受講の災害医療コーディネーター１名の推薦依頼であり，各郡市医師会に受講希望者を照会することと希望がない場合は本会役員が受講をすることが承認された。

13．10・11月の行事予定について

（報告事項）

１．９/13㈬（支払基金）支払基金審査運営協議会について

２．９/19㈫（県医）日医理事会について

３．９/19㈫（県医）診療報酬改定に関する都道府県医師会長会議について

４．９/22㈮（県防災庁舎）県保健医療福祉調

整本部訓練事前説明会について
5．９/20㈬（県医）広報委員会について
6．９/21㈭（県防災庁舎）社会保険医療担当者の集団的個別指導について
7．９/25㈪（県医）医療保険委員会について
8．９/23㈯日医未来医師会ビジョン委員会について
9．９/15㈮（県医）県有床診療所協議会総会・講演会について
10．９/20㈬・21㈭（県医）女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座について
11．９/22㈮（県医）労災部会自賠委員会について
12．９/22㈮（県医）損害保険医療協議会について

医師連盟関係
（議決事項）
1．11/27㈪（東京）『希望ある未来を拓く』政経セミナーの開催について
江藤拓議員を叱咤激励するとともに，更なる飛躍を期して開催される政経セミナーで，協力することが承認された。

お知らせ

令和５年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では，日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し，医療事務に必要な知識，最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに，医療機関の今日的な使命を自覚し，誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れております。

日本医師会認定「医療秘書」の資格を取得していると，医師事務作業補助者になるための**「32時間以上の基礎知識習得研修が免除」**されるという大きなメリットがあります。

つきましては，本学院では皆様のお役に立てる質の高い医療秘書の養成に向けてより一層努力してまいる所存ですので，会員諸先生方におかれましては，今年度，医療事務職員採用のご予定がございましたら，なにとぞ，**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお，求職に関するお問い合わせなどにつきましては，直接担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

【就職希望者】　10名（男０名，女10名）
【連　絡　先】　〒889－1605
宮崎市清武町加納丙1415番地
TEL：0985－85－0146
現代ビジネス科　教　授　黒野　伸子
准教授　武村　順子

県医の動き（10月）

1	人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会（石川常任理事他）
2	園医部会総会・研修会（Web会議）（高木常任理事他） 健康教育委員会（Web会議）（小牧副会長他）
3	第13回全理事協議会（会長他） 宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会（会長他）
4	（日医）日医地域医療対策委員会（山村副会長） （日医）日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事） 県産婦人科医会献金委員会（Web会議）
5	宮大医学部医の倫理委員会（大塚常任理事） 日医有床診療所委員会（Web会議）（会長） 「有床診療所の日」記念講演会事前打合せ会（Web会議）（会長） 県腎臓病協議会創立50周年記念祝賀会（小牧副会長） 県内科医会学術委員会（Web会議）（玉置理事）
6	（日医）都道府県医師会母体保護担当理事連絡協議会（嶋本常任理事） 県がん対策審議会（会長） 県外科医会秋期講演会（Web会議）
7	（青森）全国医師会勤務医部会連絡協議会（金丸常任理事他） （滋賀）全国医師国保組合連合会代表者会（佐々木理事） （滋賀）全国医師国保組合連合会全体協議会（佐々木理事） （※中止）産業医研修会（実地）（大塚常任理事）
8	松下新平参議院議員へ秋の経済対策，診療報酬改定要望（河野委員長）
10	第７回常任理事協議会（会長他）
11	宮崎東諸県地域医療構想調整会議（金丸常任理事） 広報委員会（荒木常任理事他）
12	県による公益法人立入検査 ロコモ予防運動推進事業養成講座 県循環器病対策推進協議会（金丸常任理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（嶋本常任理事他）
13	江藤拓衆議院議員及び長峯誠参議院議員へ秋の経済対策，診療報酬改定要望（河野委員長） 在宅医療研修会企画小委員会（石川常任理事）
14	（長崎）九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会（金丸常任理事他） （長崎）九医連常任委員会（会長） （長崎）九医連各種協議会（山村副会長他） 県警察医会総会・特別講演会 （長崎）九医連各種協議会報告会（会長他）
15	県小児科医会役員会（髙木常任理事） 宮崎から医師を目指そう応援フォーラム 武井俊輔衆議院議員へ秋の経済対策，診療報酬改定要望（河野委員長） 県小児科医会秋季学術講演会（髙木常任理事） 河野しゅんじ県政報告会（河野委員長） 古川禎久衆議院議員へ秋の経済対策，診療報酬改定要望（河野委員長）
16	ロコモ予防運動推進事業養成講座 労災診療費算定実務研修会（Web会議）
17	（日医）日医監事会（会長） （日医）日医理事打合会（会長） （日医）日医理事会（会長） （日医）診療報酬改定に関する都道府県医師会長会議（会長） （日医）都道府県医師会長会議（会長） （日医）日医連執行委員会（河野委員長他） 県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会（河原理事）
18	支払基金審査運営協議会（会長） 生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（Web会議）（会長他）
19	産業保健活動推進全国会議（Web会議）（吉見常任理事） 社会保険医療担当者の個別指導（髙木常任理事） （日医）日医医療経営検討委員会（吉田常任理事） （日医）日医予防接種・感染症危機管理対策委員会（峰松理事） 医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会（池井常任理事他） 外国人患者対応に関する研修会（Web会議）（金丸常任理事）
20	県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会（玉置理事）
21	保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会（荒木常任理事他） （福井）全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等（山村副会長他）
23	県HPVワクチン接種情報共有会（髙木常任理事） 県麻しん・風しん対策推進会議（髙木常任理事） 県予防接種広域化検討会議（髙木常任理事）
24	みやざき愛の献血運動推進県民大会（小牧副会長） 医協理事会（河野理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 第14回全理事協議会（会長他） 各郡市医師会長協議会（会長他）
25	労災診療指導委員会（赤須常任理事他） 医療従事者向け認知症対応力向上研修会（Web会議）（石川常任理事） 県整形外科医会保険審査委員打合せ会議 県感染症医療提供体制ワーキンググループ会議（Web会議）
26	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本常任理事） 県との妊婦健診等に関する協議会（嶋本常任理事他）
27	（兵庫）全国学校保健会中央大会（会長） （兵庫）全国学校保健・学校医大会会長招宴（会長他）
28	（兵庫）全国学校保健・学校医大会（会長他） （福岡）九州医師協同組合連合会通常総会
30	県医療費適正化計画策定検討委員会（金丸常任理事） 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医療事故調査支援委員会合同会議（会長他）
31	県高齢者サービス総合調整推進会議（石川常任理事） 医学賞選考委員会（小牧副会長他） 医師国保組合理事会（秦理事長他）

ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）

令和５年10月２日現在

本会では，会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は，当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。
現在，下記のとおりの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。
お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。
また，宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

１．求職者登録数　　５人

希望診療科目	求職数	常　勤	非常勤
内科	1	0	1
産婦人科	1	0	1
検診	2	0	2
老健	1	0	1

２．斡旋成立件数　　94人

	合　計
令和５年度（4/1～10/2）	4
平成16年度から累計	94

３．求人登録　　97件　　269人　（人）

募集診療科目	求人数	常　勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常　勤	非常勤
内科	85	64	21	消化器外科	3	2	1
外科	22	19	3	乳腺外科	2	2	0
整形外科	20	17	3	健診	3	3	0
精神科	12	10	2	泌尿器科	2	2	0
脳神経外科	2	2	0	産婦人科	0	0	0
循環器科	13	10	3	検診	0	0	0
消化器内科	24	18	6	皮膚科	0	0	0
麻酔科	4	4	0	婦人科	1	1	0
眼科	9	6	3	呼吸器外科	0	0	0
放射線科	9	9	0	人工透析	11	7	4
小児科	3	2	1	リウマチ科	0	0	0
呼吸器科	0	0	0	臨床病理科	0	0	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	0	0	0
総合診療科・内科	9	7	2	診療科目不問	5	2	3
脳神経内科	2	2	0	緩和ケア	0	0	0
呼吸器内科	9	7	2	内分泌糖尿病内科	4	4	0
リハビリテーション科	4	3	1	その他	2	2	0
救命救急科	7	4	3	合計	269	211	58

求　人　登　録　者（公開）

※求人情報は，申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合，
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は，公開について同意をいただいております。

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医）三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医）宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財）弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医）同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医）慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医）耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医）慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医）善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医）誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医）幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財）潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医）コムロクリニック	宮崎市	美外	1	常勤
230161	医）健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医）社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医）朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医）財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医）社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財）弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医）聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透（いずれか）	1	常勤
230214	医）聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ（いずれか）	1	常勤
230215	医）社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医）けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医）社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医）雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医）りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	1	非常勤
160010	特医） 敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医）宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内	2	常勤
170057	医）清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社）藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医）倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医）宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社）藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医）与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医）社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医）社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医）社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医）社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社）藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医）社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内（いずれか）	1	常勤
160012	医）伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医）建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医）健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医）早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医）育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医）隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医）健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医）杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医）あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外（いずれか）	1	常勤
230219	財）延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医）誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福）恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医）おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医）洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医）社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医）宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医）聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医）隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医）昇山会 上山医院	西都市	内,整（いずれか）	1	非常勤
150002	社医）慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医）愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医）十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医）春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医）秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医）文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
160019	医）相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医）和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医）けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医）友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医）連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医）友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医）養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外（いずれか）	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和５年10月２日現在

１．譲渡物件	①　宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
	②　西都市中央町２丁目６番地 土地：2,280.83㎡（691.16坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根３階建 １階　674.74㎡　２階　547.79㎡　３階　177.95㎡　計　1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり（20台）	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
２．譲渡又は賃貸物件	①　児湯郡川南町大字平田1402−74 土地：4,449㎡（1,348.18坪） 建物：鉄骨セメント造平屋建 １階　825.66㎡（250.20坪） ※駐車場あり（70台）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
	②　宮崎市上野町５−１ 土地：1,260.55㎡（381.98坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根５階建 １階 378.60㎡　２階 391.80㎡　３階 374.04㎡　４階 374.04㎡　５階 363.13㎡ 計1,881.61㎡（570.18坪） ※駐車場あり（22台）　２階は事務所　３階は宿舎・寮８室使用可　４階は貸倉庫	所有者：宮崎市郡医師会員 谷口　二郎 たにぐちレディースクリニック
３．賃貸物件	①　延岡市無鹿町１丁目710 土地：1,654.58㎡（501.38坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根４階建 １階　145.76㎡　２階　338.70㎡　３階　330.69㎡　４階　14.25㎡ 計　829.40㎡（251.33坪） ※駐車場あり（50台）	所有者：（医）社団 隆豊会 江崎医院跡
	②　西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡（265.15坪） 建物：木造瓦葺平屋建 １階　114㎡（34.54坪） ※駐車場あり（20台）	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

１．取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
２．紹介受付は，月～金の９時～12時及び13時～17時です。
３．申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
４．ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
５．求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
６．斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先　**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原１丁目101番地（宮崎県医師協同組合）
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail：isikyou@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

きりとりせん

　日州医事では，読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や，読みたい記事のご提案など，忌憚のないご意見を是非お寄せください。

　なお，いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は，このページを切り取り，
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行　FAX：0985-27-6550

お名前：

ご所属：

ＴＥＬ:　ＦＡＸ:

きりとりせん

宮崎県医師会行事予定表

令和５年10月24日

11　　月

日	曜	行事	
1	水	9：30　県個人情報保護審議会 11：00　（日医）日医設立76周年記念式典並びに医学大会 18：00　県感染症対策連携協議会	
2	木	15：00　（日医）日医医療秘書認定試験委員会 18：00　県医療審議会医療計画部会 18：30　日本リハビリテーション医学会秋季学術集会会長招宴	
3	金	（文化の日） 8：30　県医親善ゴルフ大会	
4	土	9：00　ICLS指導者養成ワークショップ 16：30　（東京）全国医師協同組合連合会通常総会	
5	日	8：30　ACLS研修会	
6	月		
7	火	15：30　県感染症対策審議会 19：00　第８回常任理事協議会	
8	水	14：00　県国民健康保険運営協議会	
9	木	15：00　県自殺対策推進協議会 19：00　県産婦人科医会常任理事会（Web会議）	
10	金	18：40　医療現場のワークライフバランスセミナー（Web会議）	
11	土	15：00　（大分）九州各県内科医会連絡協議会他 16：00　県整形外科医会研修会	
12	日	9：00　かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会（Web会議） 11：00　世界糖尿病デーin宮崎2023県民公開講座	
13	月	19：00　広報委員会 19：00　医協会計監査	
14	火	18：30　第15回全理事協議会 19：00　県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	
15	水	16：00　支払基金審査運営協議会	
16	木	13：00　日医2023年度防災訓練（災害時情報通信訓練）（Web会議） 14：00　社会保険医療担当者の個別指導 18：00　県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 18：30　宮崎銀行との意見交換会	
17	金	15：00　日医医師会共同利用施設検討委員会（Web会議） 19：00　生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（Web会議）	
18	土	14：30　産業医研修会（TV会議） 15：00　日医未来医師会ビジョン委員会 15：00　（福岡）九州学校検診協議会専門委員会 17：00　（福岡）九州各県医師会学校保健担当理事者会 19：00　宮大医学部附属病院救命救急センター開所10周年記念祝賀会	国保審査（18日〜22日）
19	日		
20	月	15：00　宮大医学部附属病院医師研修管理委員会 19：00　広報委員会	
21	火	10：30　日医監事会（Web会議） 11：30　診療報酬改定に関する都道府県医師会長会議（Web会議） 13：00　日医理事打合会（Web会議） 14：00　日医理事会（Web会議） 19：00　医師会立看護学校担当理事連絡協議会（Web会議）	社保審査（21日〜26日）
22	水	13：30　宮大経営協議会 19：00　県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会（Web会議）	
23	木	（勤労感謝の日）	
24	金	日医公衆衛生委員会（Web会議） 16：00　（長崎）九医連常任委員会 17：00　（長崎）九医連臨時委員総会 19：00　認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（Web会議）	
25	土	10：00　（長崎）九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会 13：00　（長崎）九州医師会総会・医学会 15：00　県訪問看護ステーション連絡協議会九州ブロック会議 宮崎大学医学部附属病院研修ローテート等説明会 19：00　（福岡）福岡医協創立50周年記念式典・祝賀会	
26	日	（長崎）九医学分科会・記念行事	
27	月	16：30　県立病院事業評価委員会 19：00　介護保険委員会（Web会議）	
28	火	18：00　九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18：30　医協理事会 19：00　医協理事・運営委員合同協議会 終了後　第16回全理事協議会（Web会議）	
29	水	15：00　労災診療指導委員会	
30	木		

※都合により，変更になることがあります。
　行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和５年10月24日

12　月

日	曜	行事	審査
1	金	19：00　県医中間監事監査 19：00　県産婦人科医会HTLV-1母子感染対策事業研修会（Web会議）	
2	土	13：00　日医家族計画・母体保護法指導者講習会（Web会議） 15：00　生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（Web会議）	
3	日	9：00　人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 10：30　（日医）全国有床診療所連絡協議会常任委員会・役員会 12：00　（日医）「有床診療所の日」記念講演会当日打合せ会 13：00　（日医）「有床診療所の日」記念講演会（都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会） （日医）日医有床診療所委員会（小委員会）	
4	月	15：00　（日医）国民医療を守るための総決起大会	
5	火	19：00　第９回常任理事協議会	
6	水	15：00　日医地域医療対策委員会 19：00　広報委員会	
7	木	14：00　宮大医学部医の倫理委員会	
8	金	18：00　医師クラーク育成・スキルアップ研修会（Web会議） 19：00　県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会	
9	土	15：00　県産婦人科医会性教育シンポジウム（Web会議） 16：00　病院部会・医療法人部会合同研修会	
10	日		
11	月	19：00　自殺対策うつ病研修会（Web会議）	
12	火	18：00　医協理事会 18：30　医協理事・運営委員合同協議会 終了後　第17回全理事協議会	
13	水	15：30　（日医）日医医療秘書認定試験委員会 16：00　支払基金審査運営協議会	
14	木	14：00　都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会（Web会議） 15：00　地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会 19：00　広報委員会 19：00　県産婦人科医会全理事会（Web会議）	
15	金	18：00　指導医のための教育ワークショップ打合せ会	
16	土	9：00　指導医のための教育ワークショップ 13：35　指導医のための教育ワークショップ記念撮影	社保審査・国保審査
17	日	8：30　指導医のための教育ワークショップ	社保審査・国保審査
18	月		社保審査・国保審査
19	火	10：00　（日医）日医監事会 13：00　（日医）日医理事打合会 14：00　（日医）日医理事会	社保審査・国保審査
20	水	（会館大掃除） 14：00　県保険者協議会	社保審査・国保審査
21	木		社保審査
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火	18：00　九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19：00　第18回全理事協議会（Web会議）	
27	水	15：00　労災診療指導委員会	
28	木		
29	金	（年末休業）	
30	土	（年末休業）	
31	日	（年末休業）	

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医　学　会　・　講　演　会
日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，**CC：**カリキュラムコード（当日，参加証を交付）
がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第179回宮崎心臓病研究会（Web講習会） 11月６日(月) 19：00～20：20 宮崎観光ホテル ※受講は現地またはWeb	**心血管イベント抑制にむけた総合的脂質管理の重要性** 熊本大学 生命科学研究部 循環器内科学 教授　辻田　賢一 **他**	75 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 興和㈱ （連絡先） 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
令和５年度第４回医療安全管理・感染対策講演会 11月７日(火) 17：00～18：15 宮崎大学医学部附属病院臨床講義室205	**医薬品に関する医療安全を確保するために** 宮崎大学医学部附属病院 薬剤部 部長　池田　龍二 専門医共通講習-医療安全（必修）：１単位	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部 （連絡先） 宮崎大学医学部附属病院医療人育成課卒後臨床研修係 ☎0985-85-1864
西都市西児湯内科医会学術講演会 11月７日(火) 19：00～20：10 ホテルプリムローズ西都	**医療連携と心不全ステージごとに予防と治療を考える(仮)** 宮崎大学医学部内科学講座 循環器・腎臓内科学分野准教授　松浦 祐之介	12 (0.5)	◇主催 西都市西児湯医師会内科医会 ◇共催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 大塚製薬㈱ ノバルティスファーマ㈱
	心不全診療における血圧コントロール（仮） 古賀総合病院 副院長　石川　哲憲	74 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 11月８日(水) 19：00～21：00 宮崎県医師会館	**長時間労働者の面接指導** 産業保健相談員 串間市民病院 院長　江藤　敏治 生涯研修の実地研修会：２単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
医療現場のワークライフバランスセミナー（Web講習会） 11月10日㈮ 18：40～20：20 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	**すべての人にワークライフバランス** 日本医師会 常任理事　神村　裕子 生涯研修の専門研修会：１単位	1 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 地域医療現場における働きやすい環境を考える会
延岡医学会学術講演会（Web講習会） 11月10日㈮ 19：00～20：00 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	**DKD対策や心血管イベント抑制を意識した糖尿病の新戦略～リベルサスの早期導入を目指して～** 平和台病院 副院長　天野　一志	76 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ノボノルディスクファーマ㈱ （連絡先） 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県小児科医会学術講演会～インフルエンザ・COVID-19診療up to date～（Web講習会） 11月10日㈮ 19：00～20：00 MRT micc ３階「エメラルドホール」 ※受講は現地またはWeb	**ポストコロナ時代の小児インフルエンザの流行と治療** 日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野 主任教授　森岡　一朗	8 (1.0)	◇主催 宮崎県小児科医会 ◇共催 ※塩野義製薬㈱ ☎0985-27-1041
ALL MIYAZAKI総合診療オータムセミナー（Web講習会） 11月11日㈯ 14：00～17：00 まちなかキャンパス ※受講は現地またはWeb	**症例検討** 県立宮崎病院 総合診療科 医長　早川　学 他	82 (3.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 ☎0985-85-9809 ◇共催 県立宮崎病院総合診療科

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
令和５年度宮崎県整形外科医会研修会 11月11日(土) 16：00～18：15 宮崎県医師会館	**令和５年度全国整形外科保険審査委員会議報告** 県国民健康保険診療報酬審査委員　佐藤　信博 県社会保険診療報酬支払基金審査委員　福嶋　秀一郎	9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118
	正確な骨粗鬆症の評価と治療法の選択 宮崎大学医学部 整形外科 助教　黒木　修司	77 (1.0)	
令和５年度第１回宮崎県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会（Web講習会） 11月12日(日) ９：00～12：00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	**発達障害診療に必要な知識** 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員　森　こずえ	72 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	発達障害診療の実際の流れ 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員　森　こずえ	72 (1.0)	
	県内の診療体制と紹介システムの案内 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 医員　森　こずえ	12 (1.0)	
「皮膚の日」講演会（Web講習会） 11月12日(日) 14：00～15：30 宮日会館11階ホール ※受講は現地またはWeb	**炭水化物 $Cn(H_2O)n$ ｛糖の話｝** **～甘い糖，甘くない糖(糖鎖)～** 青木皮膚科　出盛　允啓	9 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・日本臨床皮膚科医会宮崎県支部 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK 日本医師会 宮崎県医師会 （連絡先） 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011
令和５年度医師等医療従事者結核研修会（Web講習会） 11月17日(金) 18：45～20：15 日向保健所２階多目的ホール ※受講は現地またはWeb	**結核・非結核抗酸菌症の基礎知識** **～診療現場を意識して～** 宮崎東病院 院長　伊井　敏彦	8 (1.0)	◇主催 日向保健所 ◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

名称・日時・場所	演　　　　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
宮崎県医師会産業医研修会 11月17日㈮ 19：00～21：00 延岡市職業訓練支援センター	**職場における糖尿病対策** 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長　中津留　邦展 生涯研修の専門研修会：２単位	76 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第２回令和５年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（Web講習会・TV会議） 11月17日㈮ 19：00～21：00 宮崎県医師会館またはZoomウェビナー及びTV会議６会場 （都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂）	**肺がん検診** 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院准教授　柳　重久	7 (0.5) ㊫	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳癌検診の実際～超音波を中心に～ まつ婦人科クリニック 院長　松　敬文	11 (0.5) (乳)	
	胃がん検診から胃がん治療まで 県立宮崎病院 外科部長 兼 患者支援センター部長 日髙　秀樹	12 (0.5) (胃)	
	低侵襲の大腸ポリープ内視鏡治療 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 教育医長　鈴木　翔	82 (0.5) (大)	
延岡医学会学術講演会～CKD連携を考える会in延岡～（Web講習会） 11月17日㈮ 19：00～20：15 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	**CKDを打開する診療の実践** **～診療ガイドライン2023を含めて～** 奈良県総合医療センター 腎臓内科 部長 松井　勝	10 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 小野薬品工業㈱ 延岡市国民保険慢性腎臓病対策会議 （連絡先） 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎脳卒中循環器病対策講演会（Web講習会） 11月17日㈮ 19：00～20：10 アートホテル宮崎スカイタワー「山桜」 ※受講はWebのみ	**循環器病予防のための特定健診・後期高齢者健診** 名越内科 院長　名越　敏郎	11 (0.5)	◇主催 日本脳卒中協会 ◇共催 ※ファイザー㈱ ☎080-6658-6098
	脳卒中に関する様々な連携について 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 講師　大田　元	12 (0.5)	
令和５年度宮崎県第３回緩和ケア研修会 11月18日㈯ ９：00～17：30 宮崎大学医学部附属病院	**e-learningの復習・質問** 宮崎大学医学部附属病院 精神科　船橋　英樹 他	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-9758
	コミュニケーション 宮崎大学医学部附属病院 精神科　船橋　英樹 他	4 (1.5)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科　山賀　昌治 他	81 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科　山賀　昌治 他	12 (1.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 11月21日㈫ 19：00～21：00 串間市総合保健福祉センター	**人生100年時代における高年齢労働者の安全対策** 産業保健相談員 串間市民病院 院長　江藤　敏治 生涯研修の専門研修会：２単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演　題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
令和５年度宮崎県緩和ケア研修会 11月23日(木) ８：35～16：50 宮崎県立宮崎病院１階講堂	**e-learningの復習・質問** 宮崎県立宮崎病院 緩和ケア科 主任部長 義川　裕子 他	15 (0.5)	◇主催 ※宮崎県立宮崎病院 ☎0985-24-4181
	コミュニケーション 宮崎県立宮崎病院 精神科 医長　並木　薫 他	4 (1.5)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア 宮崎医療センター病院 緩和ケア内科 部長 髙橋　稔之 他	10 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 藤木病院 院長　藤木　啓 他	13 (1.5)	
	がん患者等への支援 宮崎県立宮崎病院 患者支援センター 師長 谷川　ルミ 他	5 (0.5)	
第15回はまゆう整形外科セミナー 11月25日(土) 17：30～18：30 宮崎観光ホテル東館２階「日向の間」	**女性アスリートのメディカルサポート** 宮崎大学医学部 整形外科学教室 助教 山口　奈美	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
	整形外科医が知っておくべき介護保険 宮崎市立田野病院 病院長　渡邊　信二	13 (0.5)	

名称・日時・場所	演　題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
西都市西児湯内科医会学術講演会 11月28日(火) 19：00～20：00 ホテルプリムローズ西都２階会議室	**知って得する！カテーテルで治す心臓弁膜症の現状～最新のAS治療適応と潜在患者を見逃さない問診・聴診のコツ～(仮)** 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長 木村　俊之	42 (1.0)	◇主催 西都市西児湯医師内科医会 ◇共催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 エドワーズライフサイエンス㈱
第244回宮崎県泌尿器科医会 11月30日(木) 18：50～20：15 宮崎観光ホテル東館２階「日向の間」	**泌尿器科から内科の先生に伝えたい事(仮)** 宮崎大学医学部 泌尿器科 准教授　澤田　篤郎	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 宮崎県内科医会 杏林製薬㈱ キッセイ薬品工業㈱
	過活動膀胱の治療戦略～ガイドラインからみるβ3受容体作動薬の位置付け～(仮) 昭和大学医学部 泌尿器科 主任教授　深貝　隆志	65 (0.5)	
令和５年度依存症対策地域支援事業支援者向け研修会「ギャンブル障害の治療の実際～多様化するギャンブル問題（ネット・スマホ・ゲーム）～」（Web講習会） 12月２日(土) 10：00～16：00 藤元メディカルシステム附属医療専門学校 ※受講は現地またはWeb	**ギャンブル障害の治療と実際** 大悟病院　大塚　響	70 (1.5)	◇主催 宮崎県 ◇共催 宮崎県依存症治療拠点機関・依存症専門医療機関 ※大悟病院 ☎0986-52-5800 ◇後援 宮崎県公認心理師・臨床心理士会
	九州財務局の取り組み 九州財務局 宮崎財務事務局	11 (2.0)	

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第３回令和５年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（Web講習会） 12月２日(土) 15：00～17：00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	**肺がん検診** 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院准教授　柳　重久	7 (0.5) ㊖肺	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳癌検診の実際～超音波を中心に～ まつ婦人科クリニック 院長　松　敬文	11 (0.5) ㊖乳	
	胃がん検診から胃がん治療まで 県立宮崎病院 外科部長 兼 患者支援センター部長 日髙　秀樹	12 (0.5) ㊖胃	
	低侵襲の大腸ポリープ内視鏡治療 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 教育医長　鈴木　翔	82 (0.5) ㊖大	
令和５年第５回宮崎県緩和ケア研修会集合研修 12月９日(土) ８：30～17：00 宮崎県立日南病院 ２階講堂	**e-learningの復習・質問** 県立日南病院 副院長　市成　秀樹	15 (0.5)	◇主催 ※宮崎県立日南病院 ☎0987-58-2152
	コミュニケーション(ロールプレイングによる演習) **アイス・ブレーキング** 県立宮崎病院 精神科医長　並木　薫	4 (2.0)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア(グループ演習) 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科 助教 山賀　昌治	10 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携(グループ演習) 県立日南病院 患者支援センター長　木佐貫　篤 他	12 (1.5)	

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
第204回宮崎県眼科医会講習会 12月16日(土) 16：00～19：05 KITENビル８階 大会議室 参加費：3,000円	**激変？ドライアイ治療最前線** 慶應義塾大学医学部 眼科学教室 特任講師 内野　美樹	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬㈱
	原発閉塞隅角病の治療戦略update **～ガイドライン改訂を受けて～** 神戸アイセンター病院 院長　栗本　康夫	36 (1.0)	
第１回宮崎骨粗鬆症研究会 **（Web講習会）** 12月18日(月) 19：00～20：30 宮崎観光ホテル東館２階「日向の間」 ※受講は現地またはWeb	**二次性骨折予防継続管理料の算定要件と施設基準について(仮)** 三財病院 副院長・整形外科部長　松本　英裕	10 (0.5)	◇主催 宮崎骨粗鬆症研究会 ◇共催 ※東和薬品㈱ ☎070-7426-2914 ◇後援 宮崎県医師会
	骨粗鬆症の診断と治療(仮) 健愛記念病院 副院長　池田　聡	77 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 12月19日(火) 19：00～21：00 串間市総合保健福祉センター	**健康経営を導くワークライフバランス** 産業保健相談員 串間市民病院 院長　江藤　敏治 生涯研修の専門研修会：２単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
日本プライマリ・ケア連合学会第18回九州支部総会・学術大会 **（Web講習会）** **１日目** １月20日(土) 13：50～17：30 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb 参加費：5,000円	**Neural GP：島根県における人材育成の取り組み** 島根大学医学部附属病院 総合診療医センター センター長　白石　吉彦	12 (1.0)	◇主催 日本プライマリ・ケア連合学会宮崎県支部 （連絡先） 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	宮崎県立宮崎病院総合診療科　case conference 佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター 特任准教授　山下　駿 他	15 (1.5)	
	ポートフォリオフェスティバル KOPe 事務局 (Kyusyu & Okinawa Portfolio e-learning) 他	5 (1.5)	

名称・日時・場所	演　　　　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
日本プライマリ・ケア連合学会第18回九州支部総会・学術大会（Web講習会）２日目 １月21日(日) ８：30～15：30 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb 参加費：5,000円	**医療/介護崩壊を起こさない仕組み** 沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科 副部長　高山　義浩	13 (1.0)	◇主催 日本プライマリ・ケア連合学会宮崎県支部 （連絡先） 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	まちづくり ㈱イツノマ 代表取締役社長　中川　敬文 他	12 (1.5)	
	総合診療(家庭医療)を軸とした地域医療の展開 宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授 日本プライマリ・ケア連合学会 宮崎県支部長 吉村　学	12 (1.0)	
	ひとづくり 宮崎大学医学部 地域包括ケア・総合診療医学講座 特別准教授 都農町国民健康保険病院 院長　桐ケ谷大淳 他	10 (1.5)	
	この褥瘡，どうしましょう 三和クリニック　古結　英樹 他	58 (1.5)	
	キャリアカフェ 松本医院　松本　朋樹 他	1 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 １月30日(火) 19：00～21：00 延岡市職業訓練支援センター	**この一年間(令和５年)の産業保健の動向** 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント　矢崎　武 生涯研修の更新研修会：２単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

医療機関の経営者・管理者の皆様へ
医療勤務環境改善支援センターをご利用ください
県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。
医療労務管理相談
●スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい！
●育児・介護中の休み方、働き方は？
●医師の負担を軽減させたい…
医業経営面
●スタッフのキャリアを磨きたい！
●補助制度を上手に活用したい。
●効率良く、経営を安定させたい。
相談無料
むぅ
まずは、お電話ください。
宮崎県医療勤務環境改善支援センター
公益社団法人宮崎県医師会内
月曜～金曜　午前10時から午後4時まで
TEL.0985-20-1211
FAX.0985-27-6550　E-mail　iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

診療メモ

医療機関における性的少数者への対応について

宮崎市 地域振興部 文化・市民活動課 課長　中野佳代（なかのかよ）

１．はじめに

宮崎市の性的少数者に関する取組みは，平成30年度に庁内プロジェクトチームを立ち上げたことから始まりました。当初より常に大事にしてきたことは，当事者の方々に寄り添い，できることから取り組むということです。

２．本市の現状と取組み

報道などでは「LGBT」や「LGBTQ」という言葉がよく使われますが，性の在り方（セクシュアリティ）というのは，LGBTQだけに分類できない多様なものであることから，本市では「性的少数者」という言葉を使用しております。

令和４年度に，18歳から79歳の市民2,000人を対象に実施した「宮崎市男女共同参画に関する市民意識調査結果」においては，性的少数者に当てはまる方は8.5％（約12人に１人）でした。これは，全国６万人を対象に実施された，電通ダイバーシティ・ラボの調査結果8.9％（約11人に１人）とほぼ同じ割合です。

※「宮崎市男女共同参画に関する市民意識調査結果」

３．パートナーシップ宣誓制度

本市では，令和元年度に「パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。令和５年９月末現在で26組（52名）の方々が制度を利用されています。

本市のパートナーシップ宣誓制度は，お二人のうちいずれかが性的少数者であること（双方も可），いずれかが宮崎市民であることを宣誓要件としております。宣誓書に記入し提出いただくと，宣誓受領証（下写真）を発行します。法的拘束力はありませんが，「お二人が人生のかけがえのないパートナーであると宮崎市が認めた」という証明になります。

今年６月末時点で全国で328自治体（※１）が，県内では本市を含む７市３町が同様の制度を導入しております（要件などが異なる場合があります）。

※2つのデザインのいずれかをお選びいただきます。

これまでに利用者の方々からは，「携帯電話の家族割が受けられた」，「生命保険の受取人になれた」，「パートナーが家族として認められ，手術の際の同意書に署名ができた」といった声が寄せられております。

また，制度を利用した理由や今後期待することについては，「病院での面会などに備えられると思ったから」，「緊急時に家族と同等に扱ってほしい」といった声が多く聞かれております。

※１　2023年６月28日時点「渋谷区・虹色ダイバーシティ全国パートナーシップ制度共同調査」による

４．医療機関アンケートの実施

導入時から多く聞かれたこのような声を受け，令和元年度に宮崎市と近隣地域の医療機関を対象としたアンケート調査を実施し，162医療機関からご回答いただきました。

アンケートの結果，研修を実施したいと考えている医療機関は51機関あった一方で，「単独での実施が困難」，「研修の機会がない」との意見もあり，研修を行っている医療機関は２機関でした。このアンケートの後，新型コロナウイルス感染症が流行し，より一層，研修の実施は困難になられたことと拝察いたします。

※「性的少数者に関する医療機関向けアンケート結果」

５．本市における具体的対応事例

本市では，毎年複数回の職員研修を実施しております。令和元年度に職員アンケートを行った結果，回答者の約１割が実際に窓口で対応した経験があったため，収集した事例を場面ごとにまとめ，望まれる対応を追加した対応事例集を作成し，職員がいつでも確認できるようにしております。

※「性的少数者に配慮したさまざまな行政場面での対応事例集」

その中の一部をご紹介させていただきます。

事例①　書類の性別欄（男・女）について，「どちらにも付けられない」との申し出があった。

医療機関において，身体的な性別の情報は正確な診断や適切な治療のため欠かせません。本市でも206の書類から性別欄を削除しておりますが，ガイドラインを作成し，削除の可否や性別欄の書式を判断できるようにしております。また，削除できない性別欄については，本人の気持ちを汲んだうえで，なぜ必要なのか丁寧に説明するようにしております。

事例②　本人確認の際，名前からイメージする性別や保険証に記載された性別と，見た目から推察される性別が違う。

本人確認は，非常に重要な事項です。当事者の中には，通称名を使用している方もいます。本市では，性別の確認に固執せず，住所や生年月日などで確認し，氏名の確認をする際は声にせず書類を指し示して「お間違いないでしょうか」と確認したり，周囲に聞こえないような声の大きさにするなどの配慮をするようにしております。

事例③　本人から「同性のパートナーと同居している」との説明があった場合

同性パートナーについて言いづらかったり，理解されないのではないかと不安に感じる方もいます。本市では，パートナーが同性であるかもしれないことを想定しておくこと，旦那様，奥様，彼，彼女などではなく，パートナー，ご家族，付き添いの方といった表現を使用することなどを周知しております。

このほか，当事者の方々は職員やそのご家族にいらっしゃる可能性もあり，性的指向や性自認に係る言動が，ハラスメントにつながる可能性もあることを重ねて周知しております。

６．当事者の方々の声

性別違和を抱えるトランスジェンダー当事者の方々からは，「本人確認のためのやり取りで不都合が生じることが多く，病院受診をためらってしまう」，「周囲に聞かれたくないことを大きな声で説明するよう求められ，嫌な思いをした」，「我慢できる状態であれば我慢する。極力病院には行かない」といった声が寄せられております。また，パートナーシップ宣誓制度を利用されている方々からは，「救急搬送や入院した場合，パートナーであることを説明しても理解してもらえなかった」との声も届いております。

７．最後に

医療機関では，診察や治療などでプライバシーに関わる場面が多く，入院時には病院が寝食の場となり，患者様との関わりが密接です。そのため，より繊細な配慮が求められることと思われます。

当事者の方々もさまざまであり，最適な対応は一人ひとり異なります。大切なのは，目の前の困っている方々と対話し，最適な対応をともに考えることではないかと思っております。

本市も，当事者の方々のご意見を伺いながら取り組み始めたばかりです。できることから，ご検討いただければと思います。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは，「医療機関での身近な疑問や質問」について，各分野の専門家が回答いたします。

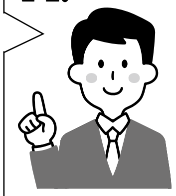
第26回　「パートナー」による同意について

Q.

外来受診された患者さんが，緊急手術することとなりましたが，一緒に来院された同性の方が，「パートナーシップ宣誓書受領証」を提示されました。この場合，パートナーに事前説明や手術同意書への記入などを依頼することは，法的に問題ないのでしょうか。また逆に法的な婚姻関係でないことを理由に病状説明などについて断ってもよいのでしょうか。

その他，パートナーに対して，医療現場で考えられる他の手続きや対応について注意点などあれば教えてください。

A.



旧来の日本の伝統的家族とは「男性と女性が法律婚を行うこと」を前提としており，さまざまな社会制度もこれを前提に設計されてきました。

しかし，「法律婚の有無（婚姻届の提出）」のみにより，家族の権利が否定されるのは不合理ではないか？長年，夫婦同然に生活をしてきた，いわゆる事実婚（同性パートナーも含む）の人にも家族としての権利を与えるべきではないか？　との問題提起がされてきました。その結果，現在では裁判所でも夫婦同様の生活をしている事実婚の方々に法律婚と同様の権利を認める判断が相次いでなされています。

ただ，このような事実婚の難点は，その判別の難しさにありました。つまり，法律婚とは異なり，事実婚の場合，これを示す簡易かつ客観的な資料がこれまでなかったため，事実婚のパートナーと単なる交際相手・友人の区別が困難でした。その結果，多くの医療機関で事実婚のパートナーを親族として認めないという運用がなされているのが現状です。

このような難点を解決すべく，多数の市町村がパートナーシップ宣誓制度を導入し，宣誓受領書を交付しています。当該制度自体には法的根拠はないものの，事実婚を公的に証明する資料であること，および前述のような社会的潮流や裁判所の考え方に基づけば，当該宣誓受領書を有している方に対しては親族と同様な扱いが求められると考えるべきでしょう。

以上を前提にご質問に回答いたしますが，宣誓受領書を有している方の場合，医療機関としては親族と同様の扱いを行うべきであることから，宣誓受領書を有する方に対する事前説明および手術同意書を依頼することは，法的に問題ないでしょう。むしろ，宣誓受領書を提示して説明を求めているにも関わらず，説明を拒絶した場合，医療機関としての説明義務違反が問われる可能性も十分にあり得るため，拒絶は行うべきではありません。

そして，医療現場で注意すべき点としては，対応を統一することです。つまり，法律婚ではないが患者のパートナーであると主張する方が現れた場合，その対応を各現場の判断に委ねるのではなく，医療機関として宣誓受領書の有無を基準に対応を判断することを内部的に統一することによって，平等な対応を心掛けることが大切です。

（回答　宮崎県医師協同組合顧問弁護士　高山　桂）

＜医療機関での身近な疑問，質問をお寄せください＞

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp），FAX，郵送などでお送りください。

※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

10月のベストセラー（宮崎県）

集計：2023年10月１日～10月22日

1	あなたが誰かを殺した	東野圭吾	講談社
2	蘇れ，吉原	佐伯泰英	光文社文庫
3	ほどよく忘れて生きていく	藤井英子	サンマーク出版
4	変な家	雨穴	飛鳥新社
5	半沢直樹 アルルカンと道化師	池井戸潤	講談社
6	鵼（ぬえ）の碑（いしぶみ）	京極夏彦	講談社ノベルス
7	すべての恋が終わるとしても 140字の恋の話	冬野夜空	スターツ出版
8	発達障害と間違われる子どもたち	成田奈緒子	青春出版社新書
9	頭のいい人が話す前に考えていること	安達裕哉	ダイヤモンド社
10	アナログ	ビートたけし	集英社文庫

明林堂書店調べ　提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎ (0985) 56-0868

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話　0985−22−5118

宮崎県医師会は支援団体として，県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時，また，医療事故と判断した時は，宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の８時30分から18時，土曜日８時30分から12時30分の時間帯は，県医師会事務局の代表電話（0985−22−5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は，国が指定した東京の**「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03−3434−1110）」**にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第３章医療の安全の確保」に位置づけられており，６条の11において「病院等の管理者は，医療事故が発生した場合には，厚生労働省令で定めるところにより，速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は，医療の安全のための再発防止を目的とし，原因を調査するために，医療機関が自主的に医療事故を調査し，再発防止に取り組むことを基本としており，責任追及を目的としたものではありません。

宮大医学部学生のページ

宮崎大学学園祭　第19回清花祭

清花祭清武キャンパス実行委員長　川畑隆士（かわばた りゅうじ）

日時：令和５年11月18日(土)，19日(日)
会場：宮崎大学木花キャンパス
　　　宮崎大学清武キャンパス

今年は上記のとおり学園祭を行うことが決定いたしましたのでお知らせします。新型コロナウイルス感染症が社会現象となってから４年の月日が経ち，本来の暮らしが取り戻されてきたように思われます。また，今年度は来る宮崎医科大学開学から50周年に向け，宮崎大学でも地域のお客さんを交えた企画を通して，コロナ禍克服の象徴として地域に再び活気を取り戻せるような学園祭にしたいと考えております。

清武キャンパスにおける「清花祭」の前身である，宮崎医科大学時代の「すずかけ祭」の伝統を受け継ぎつつ，独自の企画など創意工夫を凝らした学園祭を用意してまいります。ぜひ会場まで足を運んでいただけると幸いです。

清武キャンパスの学園祭では，日頃私たちが学んでいる医学や看護学の知識を地域の方々と共有させていただく企画「医学展」というものがあります。以下ではその一部をご紹介します。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

清武キャンパス医学展

〈気持ち企画〉

患者さんや医療従事者の気持ちを本という１つの形にして配布します。患者さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることで，お互いの『伝えたかったのは伝えられなかった思い』に近づく機会となれば幸いです。

〈なってみよう企画〉

主に児童，学生を対象とした医師体験や看護師体験，その他の医療にまつわるさまざまな体験を楽しむことができます。折り紙やバルーンなど，小さなお子様も楽しめる雰囲気のお部屋となっていますので，ぜひお立ち寄りください。

〈解剖・病理企画〉

この企画は，身体の構造や身近な病気について理解を深め，ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。実物の病理標本や模型に加え，子どもたちにも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。医学や人体の面白さに触れていただければ幸いです。

〈進路相談カフェ〉

医学・看護学を志す県内の中高生に向けて，現在の医学部生による進路相談や進学のモチベーションアップにつながる企画を用意しております。ぜひ，興味のあるお知り合いの方などにお伝えください。

〈年齢企画〉

脳，肌，血管，体力といった体の状態を『年齢』という数字を通して測定する企画です。ぜひご来場いただき，自身の健康に関心を持っていただければ幸いです。

清武キャンパスイベントスケジュール

イベント名	時　間	内　　　　容
11月18日(土)		
軽音 (屋外イベントステージ)	９：30～10：00	軽音楽部員によるバンドの演奏です。
KIZUNA企画	10：00～11：30	学生がチームとなってゲームに取り組み，絆を深める企画です。
Landing	11：30～12：00	美しいアカペラをお聴きください。
軽音 (屋外イベントステージ)	12：00～12：30	軽音楽部員によるバンドの演奏です。
st↑	12：30～13：00	学生有志によるバンド演奏です。
ちくりんこ	13：00～13：30	学祭限定メンバーでお送りします。
篠懸太鼓 (体育館)	13：30～14：30	勇壮で力強く，心震える太鼓の演奏です。
ミスキャン (屋外イベントステージ)	14：30～16：30	清武キャンパスのNo.１の女性を決めるコンテストです。
DOC.(ダンスサークル) (屋外イベントステージ)	16：30～17：00	医学部ダンスサークルによるパフォーマンスです。

11月19日(日)		
コンテスト (屋外イベントステージ)	９：30～10：30	清武キャンパスで最も美しく勇ましい男の子を決定するコンテストです。
かまきり山	10：30～11：00	学生有志によるバンド演奏です。
子ども企画 (体育館)	11：00～12：00	地域の子どもたちを招待してミニ運動会を行います。
管打楽器 (屋外イベントステージ)	12：00～12：30	管打楽器部による心に響く演奏です。
クイズ企画 (屋外イベントステージ)	12：30～14：00	宮崎大学の誇る先生方がクイズ対決を行います。今年度は開学50周年を祝し，プレミアム仕様です。昔懐かしいあんなことやこんなことが出題されます。
ラブプロ企画 (屋外イベントステージ)	14：00～15：00	学生がゲームに取り組み，男女の愛を育む企画です。
LIGHT HOUSE	15：00～15：30	美しいアカペラをお聴きください。

＊雨天の場合，屋外ステージで行う予定のイベントは体育館で行います。
＊屋外イベントステージは中庭で行う予定ですが，新型コロナ感染症の感染状況により変更になる場合がございます。ご了承ください。
＊イベントステージ周辺では模擬店が開かれます。模擬店の営業時間は９：00～16：00になっております。ぜひお越しください。
＊清花祭の詳しい情報は，ホームページ『https://miyaigakusai.wixsite.com/kiyokasai』，X『宮崎大学医学部　学祭』，Instagram『宮崎大学医学部　学祭』で検索してください。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては，会員専用ページをご覧いただくか，所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名，パスワードが必要ですので，県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

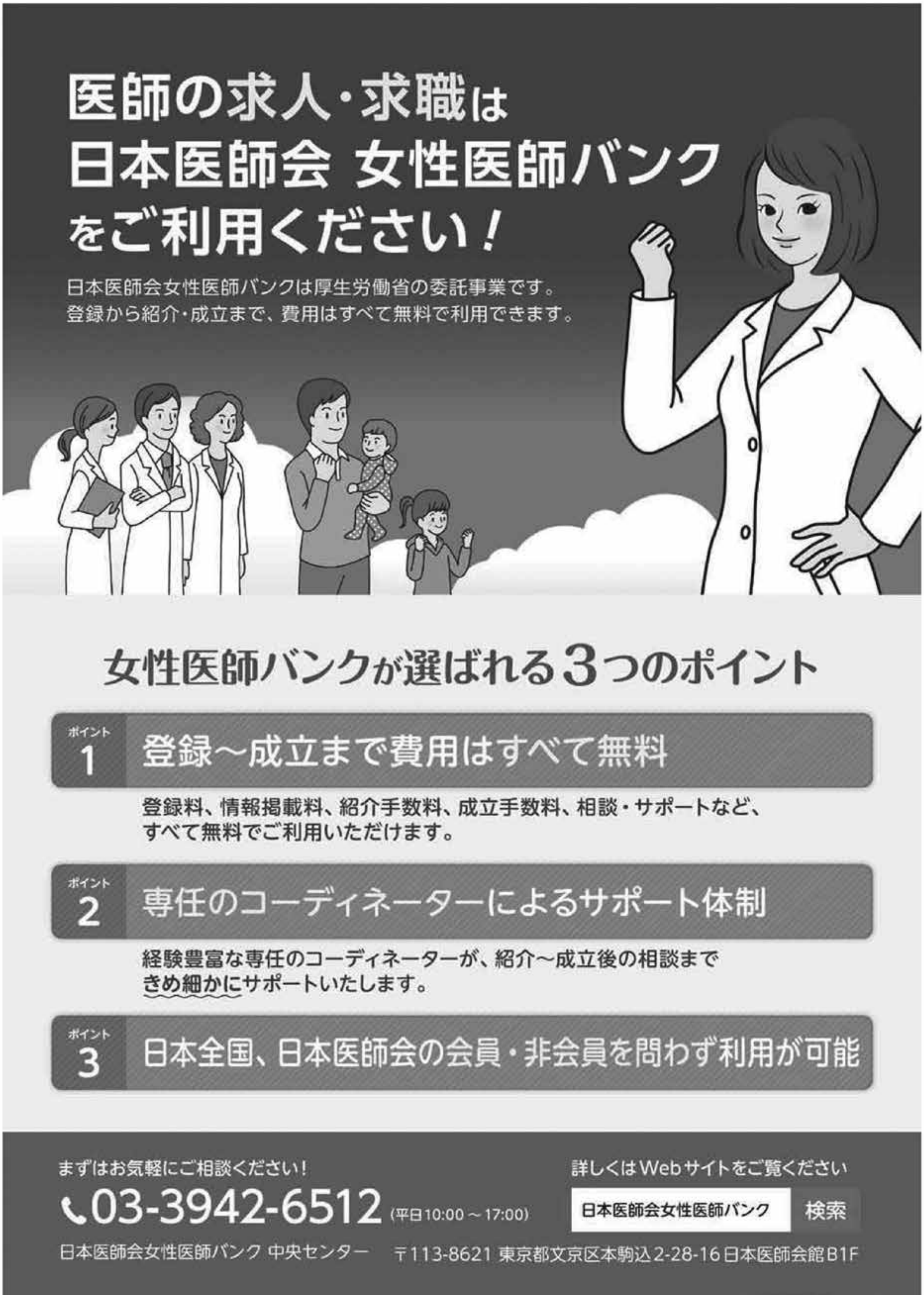
またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので，まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文　書　名
９月29日	・厚生労働科学研究費「がん患者紹介時に必要な情報に関するアンケート調査」の周知のお願い ・令和５年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について ・エプコリタマブ（遺伝子組換え）製剤の使用にあたっての留意事項について ・令和５年度最低賃金額の改定に関する周知・広報への協力依頼及び令和５年度業務改善助成金の拡充について ・第34回日本医学会公開フォーラムの開催について（案内）
10月３日	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令附則第四項の規定によりなおその効力を有するものとされた同令第三条の規定による改正前の予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布及び「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について ・感染症法施行規則の一部を改正する省令の施行，同法第12条第１項及び第14条第２項に基づく届出の基準等（一部改正）並びに感染症発生動向調査事業実施要綱の一部改正について ・ファイザー社の12歳以上用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の１価ワクチン）の配送等について（その２） ・新型コロナウイルス感染症の令和５年10月以降の取扱について（通知） ・新型コロナウイルス感染症の令和５年10月以降の公費支援に関するリーフレットについて（周知） ・新型コロナウイルス感染症の令和５年10月以降の公費支援の費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」（15版）の訂正と差し替えの依頼について ・エプコリタマブ（遺伝子組換え）製剤の使用にあたっての留意事項について ・デュピルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（アトピー性皮膚炎，気管支喘息，鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎）の一部改正について ・ジルコプランナトリウム製剤の使用にあたっての留意事項について ・各がん検診実施機関等登録（指定）名簿について（送付） ・日本医師会運動・健康スポーツ医学委員会のアンケート調査について（協力依頼） ・宮崎県物価高騰対策緊急支援金の支給・申請について（案内） ・介護現場における感染対策の手引き（第３版）等について ・令和５年度「食育健康サミット」のご案内 ・日本医学会シンポジウムの開催について（案内）

送付日	文　書　名
10月６日	・「新型コロナウイルス感染症の令和５年10月以降の医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」の改正及びQ&Aについて ・令和５年度院内感染対策講習会（講習会①）の受講者の決定について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・「令和４年度介護給付費等実態統計の概況」送付について ・「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」の一部改正について ・負担割合等の相違の可能性がある場合の被保険者等からの相談対応について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・ティーエスワン配合顆粒T20等，アクテムラ点滴静注用80mg等，エスワンタイホウ配合OD錠T20等及びエスエーワン配合カプセルT20等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・公知申請に係る事前評価が終了し，医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・抗IL-4受容体αサブユニット抗体製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・外来機能報告等に関するガイドラインの改正について ・「外来機能報告等に関するガイドラインの改正について」及び「令和５年度外来機能報告制度に関するQ&A」について ・会員情報管理に係る現況調査アンケート協力への御礼 ・医療機関等における一部負担金のキャッシュレス支払いについて ・医師会共同利用施設の設立状況等（2023年４月１日現在）調査結果の掲載について ・令和５年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会の実施，厚生労働省の取組に関する国民への周知について ・鎮咳薬（咳止め）・去痰薬の在庫逼迫に伴う協力依頼 ・医療用解熱鎮痛薬等の安定供給に関する相談窓口について（対象医薬品・相談方法の追加） ・令和５年度宮崎県レジオネラ属菌汚染防止対策講習会について ・インボイス制度の開始に向けた特定健康診査及び特定保健指導の実施の委託に係る集合契約における標準的な契約書の例等の変更について ・小児慢性特定疾病児童等データベースのリリースに伴う医療意見書の取扱いについて ・独立行政法人福祉医療機構による感染症等当該施設の責に帰することができない事由により機能を停止したこと等に伴い必要な経営資金・長期運転資金に関する融資について（情報提供） ・「医療法人に関する情報の調査及び分析等」の取扱い（第２版）について ・「医療法及び医師法の一部を改正する法律の施行について（通知）」の一部改正について
10月10日	・「医薬品供給不足緊急アンケート」の結果（速報）について ・武田社ワクチン（ノババックス）の配分等について（その９）

送付日	文　　書　　名
10月13日	・「令和５年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の実施について」等の一部改正について ・令和６年度国庫補助事業の希望調査について（通知） ・「令和５年度中皮腫の診断精度向上のための講習会」のご案内 ・令和５年度死体検案研修会（上級）の開催について ・「新生児聴覚検査の実施について」の一部改正について ・厚生労働省「医療機関向けマイナ保険証活用セミナー」開催案内＜YouTube等動画配信> ・ニトロソアミン類（NTTP）が検出されたシタグリプチンリン酸塩水和物製剤の使用による健康影響評価の結果等について ・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第74回報告書の公表について ・「令和５年度末で経過措置期間を終了する令和３年度介護報酬改定における改定事項について（依頼）」について ・医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の取組みについて
10月17日	・今シーズンのインフルエンザ総合対策の推進について ・インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金の補助金の返還にかかる厚生労働省から医療機関へのご連絡について（続報） ・「保育所における感染症対策ガイドライン」の一部修正について ・医師資格証（ICカード）の発行再開について ・日本医師会「オンライン診療についての事例ご報告」へのご協力につきまして（お願い） ・「地域支援事業交付金の交付について」の改正点について ・令和５年度認知症サポート医養成研修（後期）受講の申込みについて（依頼） ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第29回報告書」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 2022年 年報」の周知について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その57）」の送付について
10月20日	・「使用上の注意」の改訂について ・小児慢性特定疾病医療費支給認定申請に係る重症患者認定申告書及び人工呼吸器等装着者証明書の様式変更について（通知） ・令和５年度「団体経由産業保健活動推進助成金」の見直しについて ・「有床診療所の日」記念講演会のウェブサイト開設のご案内とポスター同封について ・医薬品副作用被害救済制度等の周知・広報について（協力依頼） ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針の一部改正について
10月23日	・指定訪問看護ステーション向けオンライン資格確認ポータルサイト開設等について（周知） ・共済組合員証等の無効について ・「交通事故で家族を亡くしたこどもの支援に関するシンポジウム」の開催について

送付日	文　　書　　名
10月24日	・ファイザー社ワクチン，モデルナ社ワクチン及び武田社ワクチン（ノババックス）の有効期限の取扱いについて（通知） ・ファイザー社の乳幼児（６か月～４歳）用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の１価ワクチン）の配送等について（その２） ・ファイザー社の小児（５歳～11歳）用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の１価ワクチン）の配送等について（その２） ・「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校，養成所，養成施設の対応及び実習施設への周知事項について」の廃止について ・「令和５年秋以降の新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて」等にかかる疑義解釈資料の送付について ・日本医師会への入会促進について（資料提供） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その58）」の送付について
10月25日	・日本医師会雑誌・日医ニュース紙媒体発送停止・再開申請フォームのご案内 ・ファイザー社の12歳以上用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の１価ワクチン）の配送等について（その３） ・モデルナ社の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の１価ワクチン）の配送等について（その２） ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント（第3.0版）」の周知について
10月27日	・QRコードを用いた入会申込書請求フォームについて ・令和５年度 死体検案研修会（基礎）の開催について ・第29回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について ・労働基準法に基づく生理日の就業が著しく困難な女性に対する措置の周知への御協力について ・人免疫グロブリン製剤の限定出荷と今後の見込みについて ・経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切替えに係る方針の一部見直し及び旧規格に適合した経腸栄養分野の小口径コネクタ製品を製造販売する場合の取扱いに関するＱ＆Ａについて ・フリーランス・事業者間取引適正化等法に関する周知等について ・「ケアプランデータ連携標準仕様Ｑ＆Ａ（2023年10月版）」の送付について（情報提供） ・令和５年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施について ・令和５年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」の実施について（協力依頼） ・「リスクアセスメント対象物健康診断に関するガイドライン」の策定等について ・匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報の提供に関するガイドラインについて（送付）


医師の求人・求職は
日本医師会 女性医師バンク
をご利用ください！
日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。
女性医師バンクが選ばれる3つのポイント
ポイント 1
登録〜成立まで費用はすべて無料
登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。
ポイント 2
専任のコーディネーターによるサポート体制
経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介〜成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。
ポイント 3
日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能
まずはお気軽にご相談ください！
03-3942-6512 (平日10:00〜17:00)
日本医師会女性医師バンク 中央センター
詳しくはWebサイトをご覧ください
日本医師会女性医師バンク
検索
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16日本医師会館B1F

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では，会員の皆様から随筆，旅行記，ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記
字数：3,000字以内
写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩
字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）
写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪
題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理，思い出話など
字数：800字程度
写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（２枚程）
※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本
題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど
字数：800字以内
写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■その他
- 夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- 随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。
■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。
■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。
・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】ご投稿は主にメールで受け付けております。
宮崎県医師会広報委員会　日州医事担当（弓削）
Tel 0985-22-5118　Fax 0985-27-6550　E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとがき

医学部に入学し，学年が上がるにつれて，「何科の医師になりたいのか？」という問いを他者からされること，そして自問することが増えていきます。多くの人は医学部入学を目指す際，“こういう医師になりたい”という医師像を持っていたと思うのですが，医学の知識を深め，また初期臨床研修医として実際にさまざまな診療科で経験を積む過程で，そのイメージが変化していくことも多いようです。

2015年に行われた日本医師会総合政策研究機構による医学生向けアンケート調査によれば，当時，内科・小児科・総合診療科が人気のある診療科でした。その後も“総合診療”という言葉は浸透してきている印象ですが，その診療内容や，社会全体・医療分野で果たす役割についてはまだ理解が進んでいないように感じています。欧米諸国においては最も一般的な診療科であり，日本でも今後ますます成長が期待される分野なのだと思います。

宮崎県においても，毎年数名ずつ総合診療専門医が誕生しており，これによりロールモデルとなる総合診療医が身近な存在になってきています。その結果なのか，宮崎大学医学部の学生の中でも総合診療科を志す学生が増えており，この事実が“宮崎の医療は明るい！”という方向に向かっていくことを期待し，私自身もその実現に向けて努力し続けたいと思っています。　（早川）

＊　＊　＊　＊　＊

55歳になりました。あと10年で高齢者の枠組みに入ってしまいます。イオンのGG（ジージー=爺々）感謝dayにも参加できるようになりました(T-T)。すでに折り返しているであろう人生のこれからを，仕事もプライベートも充実したものにしていきたいとつくづく思う今日このごろです。仕事に関して，最近，知識が広く浅くの傾向になっており，本来の自分の専門分野の深い勉強がおろそかになっている自覚があります。“壮にして学べばすなわち老いて衰えず”といいます。来年は久しぶりに対面の学会に多く参加しようかと思います。　（稲倉）

＊　＊　＊

９/27現在のコロナワクチンによる予防接種健康被害救済申請の累計進達受理件数が8,957件となり，認定4,520件（死亡一時金または葬祭料269件），否認644件，保留111件となりました。2018年のnature review drug discovery に掲載された「mRNA vaccines – a new era in vaccinology」には，自己免疫疾患や血栓症の潜在的なリスクに対して安全性の継続的な評価が必要と記載されているようです。　（髙橋）

＊　＊　＊

映画“アントニオ猪木をさがして”を鑑賞しました。ドキュメントとドラマで，ドラマは私世代の男性が少年時代にプロレスに夢中になり，青春時代に猪木さんの言葉で恋人を元気づけ，事業に失敗し挫折したときにはボロボロになりながら戦う猪木さんの姿に励まされるものでした。２回ほど涙しました。猪木さんの言葉，戦い，生きざまが私に大きく影響していることに気づかされました。猪木さん，元気ですか〜，ありがとう〜。　（石田）

今年ついにプロ野球で阪神タイガースが18年ぶりにセ・リーグ優勝を果たしました。シーズン中は岡田監督の方針で「優勝」のことを「アレ」としか言えませんでしたが，ついに「優勝」とはっきり口に出せるようになりました。兵庫県出身で幼いころから阪神ファンの自分にとっては待ちわびた瞬間で，優勝が決まった瞬間は文字どおり飛び跳ねました。次はクライマックスシリーズ，日本シリーズで念願の「アレ」を果たしてもらいたいです。　（鍛治川）

＊　＊　＊

先日，Pre-CC OSCE 並びにCBTが無事終了しました。学業は約２か月間の休みに入りましたが，やることが尽きない日々を送っています。現在は主にアルバイトに尽力しています。というのも，試験勉強のためにアルバイトをお休みしていたうえに，２度の部活動の遠征にともなって出費がかさんだからです。自炊にも再挑戦していますが，手の込んだ美味しい料理はなかなか作れません。安くて美味しい，簡単レシピがありましたらぜひ教えてください。　（金城）

＊　＊　＊

ある業者が「咽頭画像を撮影するとAIがインフルエンザの診断をしてくれる機器があります」と紹介に来ました。鼻に綿棒を入れられる子どもたちの恐怖心を考えるとありがたい機器です。しかし故 佐久間博士の疾患ごとの咽頭所見が記載された「佐久間のアトラス」を今も参考にして家族説明にも使用している小児科医としてはいかがなものかと思います。迅速キットの普及を含め，今後咽頭所見を軽視していく医師が増えることは大変なことでは。　（髙木）

今月のトピックス

随　筆　待つということ

さすがは谷口先生の引き込まれる話題です。私はひと世代前のポケベルでの待ち合わせでしたが。Ｚ世代は無駄を嫌う「タイパ重視」だとか。今はGoogle先生のお陰で道に迷うこともなくなり，種々の回答がすぐに手に入る時代です。便利にはなりましたが。

道に迷うことで新たな気づきもあるものですが，社会がそれを許さないのでしょう。

6ページ

診療メモ　医療機関における性的少数者への対応について

医療機関における性的少数者への対応について中野佳代さんにご教授いただいております。人間が変化したわけではないでしょうが，社会はより細かい対応を必要としております。国の対応も変化するし，医療機関の対応も変化せざる得ない。身近なお困りごと相談室での高山桂先生の回とも合わせて参考になります。66ページ

宮大医学部学生のページ　宮崎大学学園祭　第19回清花祭

川畑隆士さんより第19回清花祭の告知を行っていただいております。今年は晴れるとよいのですが。個人的には篠懸太鼓とDOC.を楽しみにしております。70ページ

日　州　医　事　第891号 (令和５年11月号) (毎月１回10日発行)
発行人　公益社団法人　宮　崎　県　医　師　会　　会長　河野　雅行
〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101番地　TEL 0985-22-5118㈹・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp
編　集　宮崎県医師会広報委員会
委　員　長　稲倉　琢也
副委員長　菊池　英維
委　　員　植田　雄一，高橋　典子，石田　康行，
長井　慎成，早川　　学，横山　晃子
学生委員　鍛治川雄登，山本　　樹，境　笙太郎，金城　由歩
担当副会長　山村　善教
担当理事　荒木　早苗，髙木　純一，佐々木　究
事　務　局　学術広報課　弓削　圭介，牧野　　諭
印刷所　有限会社　中川印刷　落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定　価　350円（但し，県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）